

女性研究者の採用数の分野内訳

所管府省	法人名	工学 女性研究者の採用数(人)					常勤			
							常勤	非任期付	任期付	非常勤
		実数					実数	実数	実数	実数
		2007	2008	2009	2010	2013	2013	2013	2013	2013
総務省	情報通信研究機構	0 (11)	0 (10)	1 (6)	3 (4)	2 (4)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	2 (3)
財務省	酒類総合研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
文部科学省	国立科学博物館	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
文部科学省	物質・材料研究機構	2 (4)	1 (6)	21 (1)	19 (1)	14 (2)	8 (3)	1 (4)	7 (1)	6 (2)
文部科学省	防災科学技術研究所	1 (6)	0 (10)	2 (5)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
文部科学省	放射線医学総合研究所	2 (4)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
文部科学省	理化学研究所	6 (2)	6 (2)	7 (3)	2 (6)	2 (4)	1 (5)	0 (5)	1 (3)	1 (4)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	3 (3)	8 (1)	4 (4)	10 (2)	9 (3)	9 (1)	8 (1)	1 (3)	0 (6)
文部科学省	海洋研究開発機構	0 (11)	3 (5)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	1 (6)	6 (2)	9 (2)	3 (4)	2 (4)	2 (4)	2 (3)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	1 (7)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
農林水産省	森林総合研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
農林水産省	水産総合研究センター	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
経済産業省	産業技術総合研究所	9 (1)	4 (4)	1 (6)	5 (3)	34 (1)	9 (1)	4 (2)	5 (2)	25 (1)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (11)	1 (6)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
国土交通省	土木研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	1 (7)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	1 (4)
国土交通省	建築研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (11)	0 (10)	1 (6)	1 (7)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
国土交通省	海上技術安全研究所	1 (6)	1 (6)	1 (6)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
国土交通省	電子航法研究所	1 (6)	1 (6)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (7)	0 (5)	0 (6)	0 (6)
環境省	国立環境研究所	1 (6)	0 (10)	0 (10)	0 (9)	1 (7)	1 (5)	0 (5)	1 (3)	0 (6)
	合計	27	31	47	44	65	30	15	15	35
	1法人当たり平均	1	1	2	1	2	1	0	0	1
	法人数	28	28	28	34	34	34	34	34	34

【参考】経年比較用集計値

※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

2010年度から	合計				44	65	30	15	15	35
	1法人当たり平均				1	2	1	0	0	1
	法人数				34	34	34	34	34	34
2007年度から	合計	27	31	47	44	65	30	15	15	35
	1法人当たり平均	1	1	2	2	2	1	1	1	1
	法人数	28	28	28	28	28	28	28	28	28
2006年度から	合計	27	31	47	44	65	30	15	15	35
	1法人当たり平均	1	1	2	2	2	1	1	1	1
	法人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27
2005年度から	合計	26	25	38	40	62	28	13	15	34
	1法人当たり平均	1	1	2	2	3	1	1	1	2
	法人数	22	22	22	22	22	22	22	22	22

女性研究者の採用数の分野内訳

所管府省	法人名	農学 女性研究者の採用数(人)					常勤			
							常勤	非任期付	任期付	非常勤
		実数					実数	実数	実数	実数
		2007	2008	2009	2010	2013	2013	2013	2013	2013
総務省	情報通信研究機構	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	1 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	1 (2)
財務省	酒類総合研究所	0 (5)	1 (3)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
文部科学省	国立科学博物館	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
文部科学省	物質・材料研究機構	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
文部科学省	防災科学技術研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
文部科学省	放射線医学総合研究所	0 (5)	1 (3)	0 (7)	0 (11)	1 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	1 (2)
文部科学省	理化学研究所	4 (1)	4 (2)	4 (2)	1 (6)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (5)	0 (8)	0 (7)	1 (6)	1 (4)	1 (4)	1 (1)	0 (4)	0 (8)
文部科学省	海洋研究開発機構	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	0 (5)	1 (3)	0 (7)	2 (4)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	1 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	1 (2)
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	3 (2)	7 (1)	12 (1)	17 (1)	24 (1)	6 (1)	0 (2)	6 (1)	18 (1)
農林水産省	農業生物資源研究所	1 (3)	0 (8)	4 (2)	1 (6)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (5)	1 (3)	0 (7)	1 (6)	1 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	1 (2)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (5)	0 (8)	1 (5)	1 (6)	1 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	1 (2)
農林水産省	森林総合研究所	0 (5)	0 (8)	3 (4)	3 (3)	3 (2)	2 (2)	0 (2)	2 (2)	1 (2)
農林水産省	水産総合研究センター	1 (3)	0 (8)	1 (5)	7 (2)	2 (3)	2 (2)	0 (2)	2 (2)	0 (8)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
国土交通省	土木研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
国土交通省	建築研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
国土交通省	海上技術安全研究所	0 (5)	1 (3)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
国土交通省	電子航法研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	0 (11)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
環境省	国立環境研究所	0 (5)	0 (8)	0 (7)	2 (4)	0 (10)	0 (5)	0 (2)	0 (4)	0 (8)
	合計	9	16	25	36	35	11	1	10	24
	1法人当たり平均	0	1	1	1	1	0	0	0	1
	法人数	28	28	28	34	34	34	34	34	34

【参考】経年比較用集計値

※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

年度	集計	2007	2008	2009	2010	2013	2013	2013	2013	2013
2010年度から	合計				36	35	11	1	10	24
	1法人当たり平均				1	1	0	0	0	1
	法人数				34	34	34	34	34	34
2007年度から	合計	9	16	25	36	35	11	1	10	24
	1法人当たり平均	0	1	1	1	1	0	0	0	1
	法人数	28	28	28	28	28	28	28	28	28
2006年度から	合計	9	16	22	33	32	9	1	8	23
	1法人当たり平均	0	1	1	1	1	0	0	0	1
	法人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27
2005年度から	合計	5	8	9	7	6	1	1	0	5
	1法人当たり平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	法人数	22	22	22	22	22	22	22	22	22

女性研究者の採用数の分野内訳

所管府省	法人名	保健 女性研究者の採用数(人)								
							常勤	非任期付	任期付	非常勤
		実数					実数	実数	実数	実数
		2007	2008	2009	2010	2013	2013	2013	2013	2013
総務省	情報通信研究機構	0 (5)	1 (3)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
財務省	酒類総合研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
文部科学省	国立科学博物館	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
文部科学省	物質・材料研究機構	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
文部科学省	防災科学技術研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
文部科学省	放射線医学総合研究所	0 (5)	7 (2)	5 (2)	2 (4)	4 (6)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	4 (5)
文部科学省	理化学研究所	9 (1)	12 (1)	8 (1)	5 (1)	13 (4)	8 (1)	0 (2)	8 (1)	5 (4)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (5)	0 (6)	1 (5)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
文部科学省	海洋研究開発機構	1 (2)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	0 (5)	1 (3)	2 (3)	1 (7)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	1 (2)	0 (6)	1 (5)	2 (4)	4 (6)	3 (4)	0 (2)	3 (4)	1 (9)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (5)	0 (6)	2 (3)	1 (7)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	0 (10)	16 (3)	5 (2)	0 (2)	5 (2)	11 (3)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	2 (4)	3 (8)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	3 (7)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	1 (7)	35 (1)	5 (2)	0 (2)	5 (2)	30 (1)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	4 (2)	5 (5)	1 (6)	0 (2)	1 (6)	4 (5)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	0 (10)	22 (2)	3 (4)	0 (2)	3 (4)	19 (2)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	0 (10)	3 (8)	1 (6)	0 (2)	1 (6)	2 (8)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
農林水産省	森林総合研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
農林水産省	水産総合研究センター	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
国土交通省	土木研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
国土交通省	建築研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
国土交通省	海上技術安全研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
国土交通省	電子航法研究所	0 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (10)	0 (11)	0 (9)	0 (2)	0 (8)	0 (10)
環境省	国立環境研究所	1 (2)	1 (3)	1 (5)	3 (3)	1 (10)	1 (6)	1 (1)	0 (8)	0 (10)
	合計	12	22	20	21	106	27	1	26	79
	1法人当たり平均	0	1	1	1	3	1	0	1	2
	法人数	28	28	28	34	34	34	34	34	34

【参考】経年比較用集計値

※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

2010年度から	合計				21	106	27	1	26	79
	1法人当たり平均				1	3	1	0	1	2
	法人数				34	34	34	34	34	34
2007年度から	合計	12	22	20	14	22	12	1	11	10
	1法人当たり平均	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	法人数	28	28	28	28	28	28	28	28	28
2006年度から	合計	12	22	20	14	22	12	1	11	10
	1法人当たり平均	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	法人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27
2005年度から	合計	12	21	16	12	22	12	1	11	10
	1法人当たり平均	1	1	1	1	1	1	0	1	0
	法人数	22	22	22	22	22	22	22	22	22

女性研究者の採用数の分野内訳

所管府省	法人名	自然科学部門以外									
		女性研究者の採用数(人)					常勤				非常勤
		実数					実数	実数	実数	実数	
		2007	2008	2009	2010	2013	2013	2013	2013	2013	
総務省	情報通信研究機構	0 (2)	0 (3)	0 (3)	1 (3)	3 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	3 (2)	
財務省	酒類総合研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
文部科学省	国立科学博物館	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
文部科学省	物質・材料研究機構	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
文部科学省	防災科学技術研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
文部科学省	放射線医学総合研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	1 (5)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	1 (4)	
文部科学省	理化学研究所	0 (2)	1 (1)	4 (1)	1 (3)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
文部科学省	海洋研究開発機構	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
文部科学省	日本原子力研究開発機構	1 (1)	0 (3)	0 (3)	2 (2)	6 (1)	6 (1)	0 (1)	6 (1)	0 (6)	
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (2)	1 (1)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	4 (3)	1 (2)	0 (1)	1 (2)	3 (2)	
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	5 (1)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	1 (3)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	0 (7)	5 (2)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	5 (1)	
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
農林水産省	森林総合研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
農林水産省	水産総合研究センター	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
国土交通省	土木研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	1 (5)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	1 (4)	
国土交通省	建築研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
国土交通省	海上技術安全研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
国土交通省	電子航法研究所	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (7)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
環境省	国立環境研究所	0 (2)	0 (3)	2 (2)	1 (3)	0 (7)	0 (3)	0 (1)	0 (3)	0 (6)	
	合計	1	2	6	11	20	7	0	7	13	
	1法人当たり平均	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	法人数	28	28	28	34	34	34	34	34	34	

【参考】経年比較用集計値

※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

年度	集計	2007	2008	2009	2010	2013	2013	2013	2013	2013
2010年度から	合計				11	20	7	0	7	13
	1法人当たり平均				0	1	0	0	0	0
	法人数				34	34	34	34	34	34
2007年度から	合計	1	2	6	5	15	7	0	7	8
	1法人当たり平均	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	法人数	28	28	28	28	28	28	28	28	28
2006年度から	合計	1	2	6	5	15	7	0	7	8
	1法人当たり平均	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	法人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27
2005年度から	合計	0	1	6	3	8	1	0	1	7
	1法人当たり平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	法人数	22	22	22	22	22	22	22	22	22

女性研究者の採用数の分野内訳

所管府省	法人名	女性研究者採用数合計													
		女性研究者の採用数(人)													常勤
		実数													実数
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013
総務省	情報通信研究機構	9 (5)	21 (3)	9 (6)	10 (8)	15 (7)	7 (13)	7 (12)	2 (9)	3 (8)	0 (17)	1 (12)	1 (14)	5 (11)	1 (15)
財務省	酒類総合研究所	0 (18)	1 (16)	0 (24)	1 (19)	0 (25)	0 (31)	0 (28)	0 (15)	1 (13)	0 (17)	1 (12)	0 (20)	0 (24)	0 (23)
文部科学省	国立科学博物館	2 (11)	5 (11)	4 (11)	0 (23)	0 (25)	1 (26)	1 (23)	0 (15)	1 (13)	1 (11)	0 (17)	0 (20)	0 (24)	1 (15)
文部科学省	物質・材料研究機構	15 (3)	16 (4)	20 (4)	18 (5)	30 (4)	35 (5)	28 (4)	10 (3)	15 (2)	15 (2)	16 (3)	25 (2)	22 (2)	16 (3)
文部科学省	防災科学技術研究所	1 (12)	2 (14)	1 (18)	0 (23)	5 (13)	1 (26)	1 (23)	1 (10)	2 (10)	1 (11)	0 (17)	5 (8)	1 (20)	1 (15)
文部科学省	放射線医学総合研究所	12 (4)	12 (6)	11 (5)	22 (4)	24 (5)	8 (12)	7 (12)	5 (6)	6 (6)	2 (7)	9 (5)	5 (8)	6 (8)	0 (23)
文部科学省	理化学研究所	41 (1)	67 (1)	61 (1)	79 (1)	73 (1)	74 (1)	71 (1)	38 (1)	66 (1)	42 (1)	52 (1)	53 (1)	61 (1)	52 (1)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	6 (9)	9 (7)	8 (7)	18 (5)	12 (9)	22 (7)	15 (9)	4 (7)	7 (5)	8 (4)	13 (4)	11 (5)	18 (3)	15 (4)
文部科学省	海洋研究開発機構	7 (8)	6 (10)	2 (14)	8 (10)	7 (10)	4 (20)	7 (12)	7 (4)	3 (8)	2 (7)	8 (6)	7 (7)	4 (12)	7 (6)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	—	8 (9)	4 (11)	18 (5)	21 (6)	15 (9)	17 (7)	—	8 (4)	4 (5)	18 (2)	21 (3)	14 (5)	17 (2)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	9 (5)	9 (7)	6 (9)	5 (12)	5 (13)	3 (23)	4 (17)	1 (10)	1 (13)	1 (11)	0 (17)	1 (14)	2 (16)	3 (11)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	—	1 (16)	0 (24)	1 (19)	2 (18)	2 (25)	0 (28)	—	1 (13)	0 (17)	1 (12)	2 (13)	2 (16)	0 (23)
厚生労働省	医薬基盤研究所	8 (7)	1 (16)	6 (9)	4 (13)	6 (12)	3 (23)	9 (10)	6 (5)	0 (22)	0 (17)	0 (17)	0 (20)	0 (24)	1 (15)
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	—	—	—	9 (11)	16 (8)	—	—	—	—	6 (8)	5 (9)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	—	—	—	5 (19)	3 (18)	—	—	—	—	4 (12)	0 (23)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	—	—	—	44 (2)	35 (3)	—	—	—	—	2 (16)	5 (9)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	—	—	—	27 (6)	5 (16)	—	—	—	—	4 (12)	1 (15)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	—	—	—	21 (8)	22 (6)	—	—	—	—	0 (24)	3 (11)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	—	—	—	6 (16)	8 (11)	—	—	—	—	0 (24)	1 (15)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	—	16 (4)	44 (3)	45 (2)	54 (2)	42 (3)	25 (5)	—	6 (6)	3 (6)	7 (7)	12 (4)	17 (4)	7 (6)
農林水産省	農業生物資源研究所	1 (12)	0 (24)	1 (18)	9 (9)	13 (8)	10 (10)	1 (23)	1 (10)	0 (22)	1 (11)	0 (17)	4 (10)	1 (20)	1 (15)
農林水産省	農業環境技術研究所	1 (12)	1 (16)	7 (8)	4 (13)	5 (13)	6 (16)	1 (23)	1 (10)	1 (13)	0 (17)	1 (12)	0 (20)	2 (16)	0 (23)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	1 (12)	1 (16)	1 (18)	0 (23)	5 (13)	4 (20)	1 (23)	0 (15)	1 (13)	0 (17)	0 (17)	1 (14)	1 (20)	0 (23)
農林水産省	森林総合研究所	—	—	1 (18)	2 (16)	7 (10)	7 (13)	3 (18)	—	—	0 (17)	0 (17)	3 (12)	3 (15)	2 (13)
農林水産省	水産総合研究センター	—	1 (16)	1 (18)	0 (23)	1 (22)	7 (13)	2 (21)	—	1 (13)	1 (11)	0 (17)	1 (14)	7 (7)	2 (13)
経済産業省	産業技術総合研究所	37 (2)	54 (2)	45 (2)	28 (3)	46 (3)	36 (4)	59 (2)	17 (2)	15 (2)	12 (3)	7 (7)	9 (6)	9 (6)	13 (5)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (18)	2 (14)	1 (18)	7 (11)	2 (18)	4 (20)	2 (21)	0 (15)	2 (10)	0 (17)	3 (9)	0 (20)	0 (24)	1 (15)
国土交通省	土木研究所	—	3 (12)	2 (14)	2 (16)	2 (18)	1 (26)	3 (18)	—	1 (13)	0 (17)	0 (17)	0 (20)	0 (24)	0 (23)
国土交通省	建築研究所	0 (18)	0 (24)	0 (24)	0 (23)	2 (18)	1 (26)	0 (28)	0 (15)	0 (22)	0 (17)	0 (17)	0 (20)	0 (24)	0 (23)
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (18)	1 (16)	0 (24)	0 (23)	1 (22)	1 (26)	0 (28)	0 (15)	0 (22)	0 (17)	0 (17)	1 (14)	1 (20)	0 (23)
国土交通省	海上技術安全研究所	1 (12)	0 (24)	2 (14)	2 (16)	1 (22)	0 (31)	0 (28)	1 (10)	0 (22)	2 (7)	2 (10)	1 (14)	0 (24)	0 (23)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (18)	1 (16)	0 (24)	1 (19)	0 (25)	0 (31)	0 (28)	0 (15)	1 (13)	0 (17)	0 (17)	0 (20)	0 (24)	0 (23)
国土交通省	電子航法研究所	1 (12)	0 (24)	2 (14)	1 (19)	0 (25)	0 (31)	0 (28)	0 (15)	0 (22)	1 (11)	1 (12)	0 (20)	0 (24)	0 (23)
環境省	国立環境研究所	3 (10)	3 (12)	3 (13)	3 (15)	5 (13)	6 (16)	6 (15)	3 (8)	2 (10)	2 (7)	2 (10)	4 (10)	6 (8)	6 (8)
	合計	155	241	242	288	344	412	359	97	144	98	142	167	198	161
	1法人当たり平均	7	9	9	10	12	12	11	4	5	4	5	6	6	5
	法人数	22	27	28	28	28	34	34	22	27	28	28	28	34	34

【参考】経年比較用集計値

※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

年度	集計	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013
2010年度から	合計						412	359						198	161
	1法人当たり平均						12	11						6	5
	法人数						34	34						34	34
2007年度から	合計			242	288	344	300	270			98	142	167	182	146
	1法人当たり平均			9	10	12	11	10			4	5	6	7	5
	法人数			28	28	28	28	28			28	28	28	28	28
2006年度から	合計	241	241	286	337	293	267		144	98	142	164	179	144	
	1法人当たり平均	9	9	11	12	11	10		5	4	5	6	7	5	
	法人数	27	27	27	27	27	27		27	27	27	27	27	27	27
2005年度から	合計	155	212	190	220	257	226	220	97	127	90	116	128	139	118
	1法人当たり平均	7	10	9	10	12	10	10	4	6	4	5	6	6	5
	法人数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

女性研究者の採用数の分野内訳

所管府省	法人名	非任期付							任期付						
		実数							実数						
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013
総務省	情報通信研究機構	2 (5)	3 (3)	0 (11)	1 (8)	1 (7)	5 (3)	1 (6)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
財務省	酒類総合研究所	0 (9)	1 (7)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	1 (10)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
文部科学省	国立科学博物館	0 (9)	1 (7)	1 (4)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	1 (6)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
文部科学省	物質・材料研究機構	1 (6)	2 (5)	2 (3)	2 (6)	2 (5)	0 (12)	4 (4)	9 (3)	13 (2)	13 (2)	14 (3)	23 (2)	22 (2)	12 (2)
文部科学省	防災科学技術研究所	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	1 (7)	2 (8)	1 (8)	0 (14)	5 (6)	1 (19)	1 (15)
文部科学省	放射線医学総合研究所	4 (2)	1 (7)	1 (4)	5 (2)	2 (5)	2 (8)	0 (9)	1 (7)	5 (5)	1 (8)	4 (6)	3 (10)	4 (8)	0 (20)
文部科学省	理化学研究所	0 (9)	0 (11)	0 (11)	1 (8)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	38 (1)	66 (1)	42 (1)	51 (1)	53 (1)	61 (1)	52 (1)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	4 (2)	3 (3)	4 (1)	6 (1)	7 (1)	8 (1)	10 (1)	0 (11)	4 (6)	4 (4)	7 (5)	4 (8)	10 (3)	5 (7)
文部科学省	海洋研究開発機構	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	7 (4)	3 (7)	2 (6)	8 (4)	7 (5)	4 (8)	7 (4)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	—	0 (11)	1 (4)	2 (6)	4 (2)	5 (3)	5 (3)	—	8 (3)	3 (5)	16 (2)	17 (3)	9 (5)	12 (2)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	1 (7)	1 (11)	1 (8)	0 (14)	1 (14)	2 (15)	3 (11)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	—	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	—	1 (11)	0 (15)	1 (10)	2 (13)	2 (15)	0 (20)
厚生労働省	医薬基盤研究所	4 (2)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	2 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	1 (15)
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	—	—	0 (12)	0 (9)	—	—	—	—	—	6 (6)	5 (7)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	—	—	1 (9)	0 (9)	—	—	—	—	—	3 (11)	0 (20)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (12)	0 (9)	—	—	—	—	—	2 (15)	5 (7)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (12)	0 (9)	—	—	—	—	—	4 (8)	1 (15)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (12)	0 (9)	—	—	—	—	—	0 (21)	3 (11)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (12)	0 (9)	—	—	—	—	—	0 (21)	1 (15)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	—	4 (2)	1 (4)	3 (4)	4 (2)	7 (2)	0 (9)	—	2 (8)	2 (6)	4 (6)	8 (4)	10 (3)	7 (4)
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	1 (9)	0 (9)	1 (7)	0 (17)	1 (8)	0 (14)	4 (8)	0 (21)	1 (15)
農林水産省	農業環境技術研究所	1 (6)	1 (7)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	1 (10)	0 (17)	2 (15)	0 (20)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	1 (7)	0 (12)	0 (9)	0 (11)	1 (11)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	1 (19)	0 (20)
農林水産省	森林総合研究所	—	—	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	—	—	0 (15)	0 (14)	3 (10)	3 (11)	2 (13)
農林水産省	水産総合研究センター	—	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	4 (5)	0 (9)	—	1 (11)	1 (8)	0 (14)	1 (14)	3 (11)	2 (13)
経済産業省	産業技術総合研究所	5 (1)	7 (1)	3 (2)	5 (2)	4 (2)	3 (6)	6 (2)	12 (2)	8 (3)	9 (3)	2 (8)	5 (6)	6 (6)	7 (4)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (9)	2 (5)	0 (11)	3 (4)	0 (11)	0 (12)	1 (6)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
国土交通省	土木研究所	—	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	—	1 (11)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
国土交通省	建築研究所	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	1 (9)	0 (9)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	0 (14)	1 (14)	0 (21)	0 (20)
国土交通省	海上技術安全研究所	1 (6)	0 (11)	1 (4)	0 (12)	1 (7)	0 (12)	0 (9)	0 (11)	0 (17)	1 (8)	2 (8)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (9)	0 (11)	0 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	0 (11)	1 (11)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
国土交通省	電子航法研究所	0 (9)	0 (11)	1 (4)	1 (8)	0 (11)	0 (12)	0 (9)	0 (11)	0 (17)	0 (15)	0 (14)	0 (17)	0 (21)	0 (20)
環境省	国立環境研究所	0 (9)	0 (11)	1 (4)	1 (8)	1 (7)	3 (6)	2 (5)	3 (5)	2 (8)	1 (8)	1 (10)	3 (10)	3 (11)	4 (10)
	合計	22	25	16	30	27	40	30	75	119	82	112	140	158	131
	1法人当たり平均	1	1	1	1	1	1	1	3	4	3	4	5	5	4
	法人数	22	27	28	28	28	34	34	22	27	28	28	28	34	34

【参考】経年比較用集計値

※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

2010年度から	合計						40	30						158	131
	1法人当たり平均						1	1						5	4
	法人数						34	34						34	34
2007年度から	合計			16	30	27	39	30			82	112	140	143	116
	1法人当たり平均			1	1	1	1	1			3	4	5	5	4
	法人数			28	28	28	28	28			28	28	28	28	28
2006年度から	合計		25	16	30	27	39	30		119	82	112	137	140	114
	1法人当たり平均		1	1	1	1	1	1		4	3	4	5	5	4
	法人数		27	27	27	27	27	27		27	27	27	27	27	27
2005年度から	合計	22	21	14	25	19	23	25	75	106	76	91	109	116	93
	1法人当たり平均	1	1	1	1	1	1	1	3	5	3	4	5	5	4
	法人数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

女性研究者の採用数の分野内訳

所管府省	法人名	非常勤						
		実数						
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013
総務省	情報通信研究機構	7 (3)	18 (2)	9 (4)	9 (5)	14 (5)	2 (17)	6 (11)
財務省	酒類総合研究所	0 (12)	0 (15)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
文部科学省	国立科学博物館	2 (7)	4 (6)	3 (10)	0 (17)	0 (18)	1 (19)	0 (20)
文部科学省	物質・材料研究機構	5 (5)	1 (10)	5 (8)	2 (12)	5 (8)	13 (6)	12 (6)
文部科学省	防災科学技術研究所	0 (12)	0 (15)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
文部科学省	放射線医学総合研究所	7 (3)	6 (5)	9 (4)	13 (4)	19 (4)	2 (17)	7 (9)
文部科学省	理化学研究所	3 (6)	1 (10)	19 (3)	27 (2)	20 (3)	13 (6)	19 (3)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	2 (7)	2 (8)	0 (17)	5 (7)	1 (16)	4 (10)	0 (20)
文部科学省	海洋研究開発機構	0 (12)	3 (7)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	—	0 (15)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	1 (19)	0 (20)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	8 (2)	8 (4)	5 (8)	5 (7)	4 (10)	1 (19)	1 (15)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	—	0 (15)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
厚生労働省	医薬基盤研究所	2 (7)	1 (10)	6 (7)	4 (9)	6 (7)	3 (14)	8 (8)
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	—	—	3 (14)	11 (7)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	—	—	1 (19)	3 (13)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	—	—	42 (1)	30 (2)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	—	—	23 (4)	4 (12)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	—	—	21 (5)	19 (3)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	—	—	6 (9)	7 (9)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	—	10 (3)	41 (1)	38 (1)	42 (1)	25 (3)	18 (5)
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (12)	0 (15)	0 (17)	9 (5)	9 (6)	9 (8)	0 (20)
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (12)	0 (15)	7 (6)	3 (11)	5 (8)	4 (10)	1 (15)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	1 (10)	0 (15)	1 (12)	0 (17)	4 (10)	3 (14)	1 (15)
農林水産省	森林総合研究所	—	—	1 (12)	2 (12)	4 (10)	4 (10)	1 (15)
農林水産省	水産総合研究センター	—	0 (15)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
経済産業省	産業技術総合研究所	20 (1)	39 (1)	33 (2)	21 (3)	37 (2)	27 (2)	46 (1)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (12)	0 (15)	1 (12)	4 (9)	2 (13)	4 (10)	1 (15)
国土交通省	土木研究所	—	2 (8)	2 (11)	2 (12)	2 (13)	1 (19)	3 (13)
国土交通省	建築研究所	0 (12)	0 (15)	0 (17)	0 (17)	2 (13)	1 (19)	0 (20)
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (12)	1 (10)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
国土交通省	海上技術安全研究所	0 (12)	0 (15)	0 (17)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (12)	0 (15)	0 (17)	1 (15)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
国土交通省	電子航法研究所	1 (10)	0 (15)	1 (12)	0 (17)	0 (18)	0 (25)	0 (20)
環境省	国立環境研究所	0 (12)	1 (10)	1 (12)	1 (15)	1 (16)	0 (25)	0 (20)
	合計	58	97	144	146	177	214	198
	1法人当たり平均	3	4	5	5	6	6	6
	法人数	22	27	28	28	28	34	34

【参考】経年比較用集計値  
※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

2010年度から	合計						214	198
	1法人当たり平均						6	6
	法人数						34	34
2007年度から	合計			144	146	177	118	124
	1法人当たり平均			5	5	6	4	4
	法人数			28	28	28	28	28
2006年度から	合計		97	143	144	173	114	123
	1法人当たり平均		4	5	5	6	4	5
	法人数		27	27	27	27	27	27
2005年度から	合計	58	85	100	104	129	87	102
	1法人当たり平均	3	4	5	5	6	4	5
	法人数	22	22	22	22	22	22	22

若手・女性研究者の活躍を促進するための環境整備に関する取り組み状況

所管府省	法人名	若手研究者	女性研究者
総務省	情報通信研究機構	2013 ・国際人材派遣制度を整備し、若手研究者を中心に国外の大学・研究機関・標準化機関等へ派遣することにより、現在または将来就く可能性のある職務に有為な知識・技能の習得機会を付与している。	2013 ・出産・育児・介護に関する職務専念義務の免除、各種特別休暇・休業制度の整備・拡充 ・裁量労働制、フレックスタイム制、在宅勤務等による、ライフワークバランスに配慮した労働形態 ・育児・介護休業中の職員が円滑に職務に復帰できるよう、職場の現状の情報提供やパソコンの貸与 ・研究者が参加する学会の託児施設を利用した際の利用料金の助成 ※ 次世代育成支援対策推進法に基づき定めた「一般事業主行動計画」において、各種制度がより一層利用される職場環境の形成を目指した施策を推進
財務省	酒類総合研究所	任期付研究員として採用された若手者のうち、優れた業績を残した者を任期の定めのない職員として中途採用する仕組み（いわゆるテニユア・トラック制）を実施している。若手研究者等の成果の発表や研究機会の拡大のため、国の各種制度を活用した国内留学、海外留学を勧奨するとともに、若手研究者等の研究会への参加を積極的に推進している。また、優れた研究開発を行った者に対しては、理事長による評価を経て理事長表彰を行うほか、研究資源の追加的措置を行うとともに、国等の褒賞制度への推薦等を行う。	産前・産後休暇や育児休業、フレックス勤務や時間外勤務制限のほか、小学校入学前の子を有する職員を対象とした育児短時間勤務制度等の育児支援制度の円滑な運用に努めつつ、女性研究者の能力の活用のため、環境整備に向けてさらなる改善に努めている。 出産・育児・介護等、理事長が認める事由により研究業務に従事できない期間を雇用期間中に有する任期付研究員が雇用期間の延長を希望する場合は、雇用期間を延長できるとしている職員採用規程を今後も継続して運用する。 ・育児・介護休業中の職員が円滑に職務に復帰できるよう、職場の現状の情報提供やパソコンの貸与 ・研究者が参加する学会の託児施設を利用した際の利用料金の助成 平成27年度末までに研究者に占める女性の割合を23%以上とすることを目標としている。
文部科学省	国立科学博物館		
文部科学省	物質・材料研究機構	・新規採用の定年制研究員に対し、着任後速やかに研究活動を開始できるようスタートアップ資金や研究スペースを研究内容及び役職等に応じて配分。 ・ICYSでは、若手研究員にメンターを配置。 ・機構在外派遣制度にて、航空券、滞在費等を支援することで、若手研究者が6-24ヶ月間、海外機関で研究活動を実施し、その資質の向上に資する機会を設けている。 ・Open Research Institute Program(海外研究者招聘制度)により、若手研究者が主体的に海外機関の研究者等との交流を促進するための支援を行っている。	仕事と子育てを両立させることができる働きやすい環境の整備を目標に、育児や介護に係る各種休業・休暇、休業期間中の補助員の配置支援等の制度を設けている。また、民間託児施設と法人契約を締結し、利用料金の一部を法人負担とする仕組みや部分在宅勤務制度を導入している。 女性研究者の増加に向けて、女性研究者の採用割合を25%、在籍割合を12%程度として数値目標を設定するとともに、特に定年制研究職の採用に関しては、定期公募時に女性のみが応募できる公募枠を別途設ける等の取組を実施している。
文部科学省	防災科学技術研究所	海外への中、長期的な在外研究員制度を設けている。	育児に関する実態調査及び育児支援制度に関する希望についての職員アンケート調査結果をもとに、子育て中においても働きやすい職場環境作りや支援制度の導入の一環として、希望の多かった一時預かり保育や病児保育の支援体制の整備(平成24年5月)を図り、利用状況の把握を行っている。
文部科学省	放射線医学総合研究所	テニユアトラック制度を導入し、アウトリーチ活動や組織の運営業務経験を積み、定年制職員への登用を進めております。また、海外研修員派遣制度、出向等による所外での活躍の経験の場を設けるとともに、当研究所以外での活動を支援するため外部機関を利用し、ジョブフェアの開催などキャリア支援を充実させております。 理事長裁量経費による萌芽的研究への支援を行い、若手研究者の独立した研究を進めています。	両立支援のため、裁量労働制、フレックスタイム制度の活用を進めております。また、育児短時間休業及び部分休業を小学校就学前まで範囲の拡充を行い、育児休業代替支援のための措置、更に法人契約による近隣民間託児施設の利用、育児クーポンの配布制度を導入しております。
文部科学省	理化学研究所	平成8年度より日本の大学院博士(後期)課程在学中の学生を採用するJRA制度の運用を続けているが、平成23年度より医療分野の基礎研究人材の育成に寄与することを目的としてCMD枠を設定し、医師免許や歯科医師免許を取得している学生を積極的に採用している。来年度からは、MD枠採用者が研究に必要な臨床をより行いやすくなるための雇用条件の見直しを予定している。ポストドク制度の基礎特研は外国人向けの同様の制度と統一し、より国際的な感覚を持つ研究者を育成する制度として、来年度より衣替える予定である。	【出産・育児などに関わる人事制度・支援制度】 ・育児・介護中の女性研究者への研究補助者配置 ・在宅勤務制度導入 ・育児・介護に関する研修開催 ・育児・介護に関するハンドブック作成 ・相談窓口設置 【数値目標設定】 ・「指導的な地位にある女性研究者の比率を少なくとも10%程度」(第3期中期計画)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	・専門知識を有する若手研究員(ポストドク)を専門分野における研究活動に積極的に活用している。 ・また、大学等より、多くの研修生を受け入れ、次世代の研究者、技術者の養成、資質の向上に取り組んでいる。	・男女共同参画室を設置し、女性職員に対し各種サポートを行っている。 ・3歳まで育児休業を取得可能とするなどの支援制度を設けている。 ・筑波宇宙センター内に保育園を設置し、職場復帰への促進及び仕事と子育ての両立がしやすい環境を整備している。 ・職員の採用にあたっては、一部公募要項に女性研究者を歓迎する旨の記載や就職説明会で育児支援制度及び介護支援制度等を説明することにより、女性研究者の積極的な募集に取り組んでいる。 ・女性研究者支援事業の達成目標である平成28年度末までに女性研究者の採用比率を18%以上とすることを考慮して採用活動を進めている。
文部科学省	海洋研究開発機構	・若手研究者が海外機関で経験を積むための一時派遣制度を実施している。 ・若手研究者の独自の発想を醸成し萌芽的研究開発を支援することを目的とした、機構内の競争的資金である萌芽研究開発促進アワード制度を実施している。 ・海洋・地球科学研究分野の博士号をもつ優れた若手研究者が、その研究課題をより卓越した業績へと発展させる事を目的とし、国際ポストドクトラル研究員制度を設け、公募を行っている。	・平成20年度に、出産及び育児に係る各種制度の理解を促すため「産前産後休暇・育児関連制度ハンドブック」を作成した。平成26年度は育児に係る時短勤務期間を小学校入学まで延長し、さらに職員が制度を理解し取得しやすくなるようガイドブックの大幅改定を実施した。 ・「積立年休制度」を策定し、育児のために年次有給休暇を取得できるようにするとともに、「ペーパードキュメント育児支援事業」を導入し、育児のために勤務が制限されがちな女性職員を補助するための制度を整備している。 ・任期付研究者(交付金雇用者)の雇用期間について、育児休業期間を考慮し、最大10年まで雇用期間を延長できる制度を整備している。 ・研究者を対象に裁量労働制を導入し、柔軟な働き方を提供し実質的な短時間勤務を実現している。 ・研究職等の公募の際、募集要項に、「多数の女性研究者の積極的な応募を期待するとともに、男性候補者と女性候補者の業績および人物評価が同等であった場合は、女性を優先して採用」する旨、付記している。
文部科学省	日本原子力研究開発機構	・博士研究員制度、任期付研究員制度を整備し、若手研究者を積極的に受け入れ、活躍の機会の拡大に努めている。 ・フレックスタイム制度及び裁量労働制度を導入し、若手研究者が柔軟かつ自立的に研究活動を進めるための環境を整備している。 ・優秀な研究業績を挙げ、職員として適格性を有する若手研究者については、審査を経て、定年制職員へ登用するテニユア・トラック制度を整備している。	・男女共同参画推進委員会を設置し、機構における男女共同参画を積極的に推進している。 ・理工系学部のある女子大学への訪問、女子学生を対象とする採用説明会への参画、機構の女性研究者等による採用活動を行うことで、女性研究者の母集団拡大に努め、採用促進を図っている。 ・メンター制度を整備し、女性研究者等のキャリア育成を支援するとともに、研究会への参加を通して、女性職員の能力の活用及び向上を図っている。 ・フレックスタイム制度及び裁量労働制度の導入、育児期間中の休業制度及び代替補助員受入制度の導入等により、女性研究者等が働きやすい職場環境の整備に努めている。
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	若手任期付研究員の公募、採用を行っている。	産前42日、産後56日の特別休暇の取得を就業規則で規定しており、また育児休業・部分休業については子が3歳に達するまでの期間についての取得を就業規則で規定している。
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	若手研究員の海外派遣制度の創設及び関係規程の整備など。	男女雇用機会均等法、出産・育児休業に関わる規程などに基いた運用を行っている。また、裁量労働制やフレックスタイムの制度を導入している。
厚生労働省	医薬基盤研究所	特になし。	特になし。
厚生労働省	国立がん研究センター	・海外への留学制度等について枠組みを検討中。 ・研究所内において「若手の会」を開催し、自由闊達な意見交換等を行っている。	・最大3年間の育児休業制度、小学校3年生までの育児短時間制度等の導入。 ・24時間預けることも可能なセンター内保育所を設置。
厚生労働省	国立循環器病研究センター	・研究倫理に関する臨床研究セミナーを年2回開催 ・研究成果だけでなく、着想の新規性や将来性、研究に対する熱意、向上心、問題意識などを評価する若手研究奨励賞の設置	・出産前6週間、出産後8週間の産前産後休暇制度(有給) ・子が3歳に達するまで育児休業取得可能 ・仕事と家庭の両立を図るため、育児短時間勤務制度、育児時間制度(育児のために一日の勤務時間の一部を免除) ・事業所内に保育所を設置
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	・独立して研究する能力があり、研究者として高い資質を有すると認められる者などを、流動研究員として3年間を限度とした任期により採用している。 ・「若手育成カンファレンス」を定期的に実施し、研究の質の向上及び若手研究者の育成を行っている。	・人事考課のマニュアルで属人的要素である性別等について評価の対象外とし、性別による偏った評価がないよう基準を明確に定めている。 ・「一職業デー」の設定や、一般事業主行動計画「仕事と子育ての両立支援プログラム」を定め、職員に周知するとともに、職員の仕事と生活の両立を図っている。 ・研究者を含む女性管理職の登用推進を図り、管理職員のうち女性が占める割合を24.7%から、平成27年度末には26.4%とする目標を定めている。
厚生労働省	国立国際医療研究センター	若手研究者のやる気を出してもらうため、箱根山若手会研究奨励賞を設立 英語論文作成のための講習会を開催	センター敷地内に保育園有り 産前休暇、産後休暇、保育休暇、看護休暇制度有り 育児休業、育児時間勤務、育児短時間勤務制度有り 妊産婦の業務軽減制度有り
厚生労働省	国立成育医療研究センター	・部長、室長が若手研究者のメンターとして個々に指導を行っている。 ・若手研究者を対象としたinhouse研究開発費の枠を設置している。	子育てによる離職防止の為、院内保育所を設置している。
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	毎年度末に研究報告会を行い、所属する研究部に対して資金面を含めた翌年度への配慮を行っている。 平成27年度からは海外留学助成金制度を開始させ、認知症研究における1年間の長期留学が可能となる。	・人事考課の留意点として、日常の職務に限定して評価を行っている。また、属人的要素である性格・年齢・性別・学歴・経験年数等は評価の対象としない。 ・職員育児・介護休業等規程により、子を養育する職員又は家族の介護を行う職員の継続的な雇用の促進を図り、職員の福祉の増進及び職務の円滑な運営に資することにより、育児休業や育児短時間勤務、育児時間等といった、仕事と生活の両立を図るための制度を設けている。
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	人件費が厳しい状況であるものの、25年度以降、毎年度、二号任期付研究員20名程度、および、採用時に30歳以下の若手研究員の試験採用10名程度を公募・採用している。 採用後は、スタートアップの研究費配分等の研究環境について配慮するよう内部研究所へ指導している。また、40歳以下の研究職員を対象として、海外の研究機関で技術習得等の研修を趣旨として、長期在外派遣制度を整備しており、毎年度数名を派遣している。その他、若手を対象とした研修も実施している。	平成22年度より、研究職員の採用募集要項において、「業績および資格等に関する評価が同等と認められる場合には、女性・外国人の採用を優先的に検討する」旨、明記している。また、当機構における男女共同参画推進活動について、ホームページ等で積極的に広報している。 出産・育児に係る支援制度には、①勤務時間短縮・休暇・休業制度として、妊産婦の勤務緩和、産前・産後の休暇、育児休業(3歳未満)、育児短時間勤務、早出遅出勤務、育児時間、子の看護に伴う特別休暇等を整備している。また、②民間託児所等の利用による保育支援(費用の一部補助)制度がある。さらに、③産前産後の期間や育児休業期間中に研究業務を代替する任期付職員の雇用経費を補助する制度がある。 なお、平成22年～26年度に男女共同参画行動計画を公表しており、研究職員における女性比率の目標値15%をクリアする見込み。
農林水産省	農業生物資源研究所	若手研究者の活躍を促進するための環境整備に関する取り組みとしては、若手研究者に優秀な指導者を付け、人材育成プログラムの中の新規採用研究者に対する特別な養成プログラム(具体的には、国内外の研修の奨励、成果発表会の開催、外部資金等の応募支援など)により、その育成を図っている。 また、スタートアップのために必要な資金の配分を行っている。	女性研究者の活躍を促進するための環境整備に関する取り組みとしては、中期計画において「研究職員における全採用者に占める女性研究者の割合が、前期実績を上回るよう女性研究者を積極的に採用し、活用を図る。」ことを明示し、男女共同参画の担当者配置して法人内の推進体制を整備している。 出産・育児に関わる取り組みとして、6ヶ月以上の育児休業等取得した場合、休業等による研究の継続・推進を支援するため、休業等期間中又は復帰後のいずれかに必要な資金の配分を行っている。
農林水産省	農業環境技術研究所	学位の取得を奨励しており、平成25年度の研究職員中の博士号取得者の割合は83.7%となっている。 若手研究者を対象に、法人独自の長期在外研究制度を設けている。 英語論文作成支援(英文校閲費用の支援)を実施。 メンター制度を導入するとともに、交流会なども行っている。 新規採用者には、スタートアップ資金を配分している。 ポストドクターを含む若手研究者を対象とする所内表彰制度(農環研若手研究者奨励賞)を活用し、若手研究者へのインセンティブ付与に努めている。 自らの農業環境研究者としてのキャリアを考える機会を提供することを目的として、意欲的な経営を行っている農家に宿泊しながら農作業に携わり、語らい、農業体験を積む農家研修を開始した。	出産・育児期の女性研究者の研究継続を支援するため、法人として支援研究員を雇用している。 英語論文作成支援(英文校閲費用の支援)を実施。 海外出張支援(海外での学会発表への旅費の支援)を実施。 女性研究者及び女性ポストドクのためのキャリアアップや健康問題に関する相談に対応するために、外部専門家による定期的な相談窓口の開設。 民間託児所又はペーパードキュメントによる支援制度を実施。 当法人の研究職員(パーマナント、任期付、およびポストドクの計)のうち女性数は24人、女性比率は16.0%であり、うち1人が領域長、1人がPRリーダーに就いている。
農林水産省	国際農林水産業研究センター	・若手育成型任期付研究員に対するテニユア・トラック制度を導入し、若手研究者の育成・確保に努めている。 ・人材育成プログラムを策定し、国際共同研究への参加や競争的研究資金への応募の奨励、研究会への参加機会の拡大、海外派遣の支援、アウトリーチ活動の促進などを通じて、競争的・協力的な研究環境の醸成や多様な雇用制度を活用した研究者のキャリアパスの開拓に努めている。 ・新規採用職員研修、若手研究者研修、中堅研究者研修、研究リーダー研修等の階層別研修への参加を促し、研究職員の資質向上に努めている。	・任期付研究員の公募にあたっては募集要項に「当センターは、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、男女共同参画を推進しており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します」と明記し、女性研究者の応募を促進している。 ・男女共同参画行動計画を策定し、女性研究職員採用に係る数値目標を定めている。 ・当センターのホームページに、「研究者を志望する女性の皆様へ」のコーナーを設け、女性職員から女子学生に向けたメッセージを発信して女性研究者の獲得に努めている。

所管府省	法人名	若手研究者	女性研究者
		2013 研究所の即戦力として学位取得者の採用を優先してきたが、研究分野によっては学位取得直前でありながら研究活動を積極的に進めている有為な研究者を育成することで、研究所の人材確保と活性化が期待され、テニュアトラック制を導入している。 また新規採用後は、科研費のスタートアップ支援制度等への応募を促すとともに、運営費交付金を活用した業務支援を行っている。	2013 2011年1月に「男女共同参画宣言」を策定、男女共同参画室を中心に、出産・育児・介護などの責任を持つ職員を支援する制度を推進し、育児・介護のための休業・休暇の促進、弾力的な勤務の活用(裁量労働制の導入)、代替要員確保の支援等を進めている。 数値目標は、女性研究者の応募・採用比率を第3期中期計画期間中に30%、管理職に占める女性職員の比率を2020年までに5%以上を掲げ、目標達成に向けて取り組んでいる。
農林水産省	森林総合研究所	社会人大学院制度等を活用しての学位の取得を奨励。その他、業務に必要な研修の実施及び資格取得の支援を行っている。	支援活動として、育児休業制度、介護休業制度及び配偶者同行休業制度を導入し、次世代育成支援に係る諸制度をグループウェア等で職員に周知し、積極的な理解促進を図っている。また、看護休暇や早出遅出勤務制度については、中学校就学前の子を対象とするなど、職場復帰後も仕事と子育ての両立ができるよう体制整備するとともに、裁量労働制勤務の利点を活かしつつ、各種制度の利用の促進に取り組んでいる。
農林水産省	水産総合研究センター	・ポスドクを含む若手研究者のキャリア形成に向けたセミナーを開催。 ・メンター制度、OJT制度の実施。	・第3期中期目標期間(2010-2014年度)の女性研究者採用比率15%以上を目標としている。 ・キャリアカウンセリングやセミナー開催などにより、女性研究者のキャリア形成の支援を行っている。現在は女性研究者にとどまらず男性研究者の支援にも繋がっている。 ・一時預かり保育制度や育児・介護休暇等制度の整備、ワーク・ライフ・バランスセミナーなど、仕事と育児・介護の両立が可能となる支援策を実施している。現在は女性研究者にとどまらず男性研究者の支援にもなり、男性の積極的な育児参加や介護支援にも繋がっている。 ・育児休業期間は評価を受けるための在級年数から除算しないこととし、男女を問わず昇格審査の機会の平等性を確保している。 ・就職説明会や就職情報誌などの活用、イベントでのロールモデルエッセイ集の配布などを通じ、産総研が女性にとって働きやすい職場であることを積極的にアピールしている。
経済産業省	産業技術総合研究所	・若手研究者の専門知識・能力等の強化のため、各種専門研修や国内外大学院への派遣等を実施し、機構の事業推進に必要な専門知識の取得や、関係省庁、政府機関、石油会社・鉱山会社等に職員を出向派遣し、現場実務の経験を通じて、今後の研究に繋がる専門性の向上を図っている。 ・国内外での研究機会の拡大、研究会等への参加の促進のため、費用補助等の支援を行い学識活動の経験を促進している。	・豊富な経験や高い能力を有する女性人材を積極的に採用・登用し、適材適所の人員配置により組織の活性化を図っている。また、新卒採用時の女性比率30%以上の確保、2020年までに女性管理職の割合を30%以上とする政府目標を念頭に置きつつ採用・人員配置を行っている。 ・女性の参画拡大のための計画として、女性管理職比率目標(平成27年度末時点で5%)を策定している。 ・女性職員へのヒアリング、相談を受け付けるなどコミュニケーションを図り、能力を十分に発揮できるような職場環境の整備に努めている。また、女性の参画拡大について社内イントラネット等を利用して意識啓発を図っている。 ・「人事考課実施要領」を制定し、定められた基準に基づき男女の差別なく公平・公正に人事考課を行うことを義務付け、出産・育児等に係る休業期間が6ヶ月以上の期間に及ぶときは標準評価とする等、出産・育児等を考慮した考課を実施している。 ・育児休業制度・育児短時間勤務制度の他、妊産婦職員の時間外勤務の制限、育児を行う職員の深夜勤務・時間外勤務の制限、妊産婦及び育児に係る特別休暇等を就業規則により制定済みで、仕事と生活の両立のため、育児休業を取得しやすい環境を推進している。
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	若手研究者等の研究意欲を高めることを目的とした研究区分(基盤研究(萌芽))を整備している。 科学的研究費助成事業(科学研究費補助金等)については、若手研究員を中心に応募を積極的に呼びかけ、応募に当たっては、積極的にヒアリング等を行い、アドバイス体制の強化に努めると共に、申請書類等の留意事項等を所内イントラネットに掲載するなど支援に努めた。 土木研究所職員の資質向上のため、発表経験の少ない若手研究者が学会等を想定したプレゼンテーションを行い、発表技術の向上を目指すと共に、発表者以外の聴講する職員にも適切なディスカッションを経験させるため、若手研究発表会を実施している。	次世代育成支援対策推進法に基づく 独立行政法人土木研究所一般事業種行動計画に基づいて取り組んでいる。
国土交通省	土木研究所	・研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律第24条に基づき、「独立行政法人建築研究所の人材活用等に関する方針」を策定し、若手研究者の自立と活躍の機会を与えるための取組を行っている。(具体的には、所内審査を経ての研究費の配分、競争的資金等外部資金の獲得に向けた申請の奨励、海外研究期間における研究・研修機会の提供、国際学会等への参加の促進等)	・研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律第24条に基づき、「独立行政法人建築研究所の人材活用等に関する方針」を策定し、女性の能力活用のための取組を行っている。 ・育児・介護休業制度の充実をはかる関係規定を整備している。 ・女性管理職の登用目標として、平成28年4月1日時点で概ね10%台という目標を設定している。
国土交通省	交通安全環境研究所	「交通安全環境研究所における研究職員の育成等に関する方針(平成22年4月1日理事長令第1号)」 (http://www.ntsel.go.jp/disclose/kouhyo/ikusei.pdf)を定めており、募集及び採用における均等な機会の確保に留意しつつ、若手者(概ね37歳以下の者をいう。以下同じ。)の研究職員の割合の向上に努めている。具体的には、研究職員採用において、応募者における若手者の割合に対して採用者における割合が同等以上になるよう努めている。また、テニュア・トラック制度、国内外留学制度も導入している。さらに、採用する任期付研究職員の経歴に応じて適用する係給表を使い分けすることで、優れた研究職員の確保に努めているとともに、任期のない正規研究職員については、研究職員評価制度に基づく実績手当を支給している。	「交通安全環境研究所における研究職員の育成等に関する方針(平成22年4月1日理事長令第1号)」 (http://www.ntsel.go.jp/disclose/kouhyo/ikusei.pdf)を定めており、募集及び採用における均等な機会の確保に留意しつつ、応募者における女性研究者の割合に対して採用者における割合が同等以上になるよう努めている。また、育児期間中の勤務時間の短縮、出産・育児を考慮した業績評価制度を導入している。
国土交通省	海上技術安全研究所	・新採・若手、主任研究員等を中心とした人材育成プログラムを作成し、研修・講習、OJTプログラム、人事交流等を計画的に実施している。 ・留学制度を活用し、中堅職員のノウハウの習得、海外研究機関との連携強化を図っている。	・育児休業制度、育児短時間勤務制度及び部分休業制度を導入し、女性研究者に対する支援を行っています。
国土交通省	港湾空港技術研究所	若手研究者には国内外の学会、シンポジウム及び講演会への参加を促し積極的に派遣を行うとともに、外部専門家の招聘や客員研究者や客員フェローによる講演・研究指導を受けることで研究者能力向上を図っている。また、若手研究者による優秀な論文執筆や、機動的な研究に対する研究費を配分するなど研究費の面でもサポートする取組を行っているとともに、研究者評価・研究評価を通じて研究者のPDCAサイクルの形成によって研究者の意欲と努力が適正に評価される仕組みを整えており、研究テーマ単位で研究の方向性や進める上での助言や意見交換を定期的に行っている。	当所では女性・男性の区別なく研究成果や実績等により昇格させるなど登用を行っている。また、出産・育児などの支援制度についても国に準じた対応を行うなどサポートが可能な体制となっている。女性研究者については適正や能力を評価し採用・登用に努めている。
国土交通省	電子航法研究所	電子航法研究所では、若手研究者の段階的な能力向上を図るべくキャリアガイドラインを定めている。採用された研究者に対しては、このキャリアガイドラインに沿った研修計画等を策定している旨を説明し、若手研究者のうちからその能力取得に努めるよう指導しているところである。	電子航法研究所では、育児休業制度の整備によって子供を育てながらキャリアを積んでいくことのできる環境を整備しており、出産経験のある常勤研究員3名全員が育児休業を取得するとともに、その全員が離職することなく研究者としてのキャリアを積んでいる。
環境省	国立環境研究所	若手研究者等の自立と活躍の機会を与えるため、外部競争的資金の応募に際し適切な指導助言を与えるとともに、内部公募型研究制度を活用して、新しい発想とアイデアに基づく研究の奨励を図っている。また、若手研究員派遣研修実施要領に基づき、海外の研究機関への派遣研修を実施している。	出産育児に係る諸制度を所内のイントラネットで専用ページにより分かりやすく周知している。 さらに、女性研究者等の研究参画推進も含め、男女共同参画等を図るための職場環境整備の一環として、平成23年度に妊産婦が授乳や休憩ができる休憩スペースを開設したが、平成26年度に新たに1箇所増設した。また、平成24年度に開設した一時預り保育室については、順調に利用者増加に繋がっている。

外国人研究者の獲得を目的とした環境整備に関する取り組み状況

所管府省	法人名	外国人研究者の獲得を目的とした環境整備に関する取り組み状況
		2013
総務省	情報通信研究機構	・英語による採用情報のホームページ掲載など、外国人研究者に向けた情報の発信 ・高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度の周知・利用促進 ・採用時における住居の確保支援(法人による連帯保証、敷金・礼金等の初期費用の立替) ・外国人研究者向けに「業務ガイダンス」を実施するなど、職場における日常において必要となる知識の付与 ・日本語研修の実施
財務省	酒類総合研究所	外国人特別研究員事業による外国人研究者を受け入れている。任期付研究員の募集は、国籍条項を設けずに行っている。生活面、研究面においても、英語で対応できるように職員を配置している。
文部科学省	国立科学博物館	
文部科学省	物質・材料研究機構	①Naturejobs等の国際求人サイトへの公募広告掲載及び英語による採用活動の実施。 ②外国人研究者に対するオリエンテーション、ラボツアー、日常生活も含めた生活サポートの実施。 ③外国人研究者が研究及び日常生活に支障が出ないよう、ガイドブックを作成を実施。 ④機構を国際的に開かれた研究拠点とするため、Open Research Institute Program(海外研究者招聘制度)の実施。 ⑤海外からの若手研究者、学生を積極的に受け入れるため、ICYS、学術連携室大学院チームを設置しその受入・支援業務を専門に実施。 ⑥NIMSで働くための日本語クラス、日本文化紹介の実施。 ⑦研究環境のより一層の国際化を推進するため、事務職員を対象とした英語研修の実施。
文部科学省	防災科学技術研究所	外国人を含む優秀かつ多様な人材の確保のため、英文での公募を実施するとともに日本における生活支援等のため、外国人相談窓口を設置した。
文部科学省	放射線医学総合研究所	研究職員の公募に際しては国際公募(和文・英文同時)とするよう努めており、採用時提出書類や就業関係資料の英語化を順次進めております。また、研究所に勤務する外国人職員全員にアンケート調査を実施し、その結果をに英語版ホームページ等に掲載しております。
文部科学省	理化学研究所	新しい情報の提供と研究及び生活環境に関する理解を助けるため、入所時のオリエンテーションの充実化、外国人向け生活支援ウェブサイトの提供、月刊誌発行を行っている。また、生活に関連した支援としては、外国人住宅の確保、日本語クラスの開講、外国人研究者の家族に対する生活支援(外部住宅探索・紹介、連帯保証人制度、出入国・査証発給支援、医療情報マニュアル等の作成・配布、ヘルプデスクでの生活相談対応など)を実施している。事務部門の支援体制強化として、研究者向けの事務文書のバイリンガル化(日英)が定着しており、事務職員の英語研修を実施している。さらに、和光研究所託児施設では、外国人研究者等を優先するポイント制度や特枠を設けている。
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	・教員募集の際に、外国人も応募できるよう英文にて掲載。 ・外国人の多く在籍する事業所においては、館内放送や周知メールの英文化、外国人向けワンストップサービスの提供を目的として、生活情報を提供できるよう英語のできる窓口(ユーザーズ・オフィス)を設置している。
文部科学省	海洋研究開発機構	・間B2-1に記載した、「国際ポストドクトラル研究員制度」による公募を行っている。また、研究者の公募については、全ての募集要項を和文・英文ともに公開し、外国人研究者の獲得も積極的に視野に入れている。 ・外国人研究者受入に際しては、住居探しや外国人登録等の手続きに同行するなど、支援体制を組んでいる。
文部科学省	日本原子力研究開発機構	・平成24年10月より、外国人研究者全員を対象とした「外国人向けイントラポータルサイト」を開設している。 ・外国人研究者が機構内の事務手続において必要な書類、規程集などの資料をデータベース化するとともに、各種電子事務手続のシステムや生活情報に関する外部のホームページ等のリンク集を作成し、ポータルサイトとしてその情報を集約することで、利便性を高め情報を効率的に把握・共有できるように努めている。 ・日本語教室の開催や外国人メーリングリストでのローカルニュースの発信、e-mailによる相談窓口の設置等を行っている。
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	国籍に関わらず、公募、採用を行っている。
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	国籍にとらわれずに採用を行っている。
厚生労働省	医薬基盤研究所	特になし。
厚生労働省	国立がん研究センター	
厚生労働省	国立循環器病研究センター	関西イノベーション国際戦略総合特区の中の「国際展開を視野に入れた臨床手技トレーニング事業」の一つとして、韓国、台湾、シンガポール、ロシア、カタール、米国からの外国人医師・専門家を招聘し、国産の最先端治療機器である植込み型補助人工心臓の植込み手術の実験動物を介したトレーニングや当センターが企業と共同開発した術野カメラ等の実証実験等を行った。(平成25年) また、イノベーションや新産業の創出に向けて、移転予定地である吹田市吹田操車場跡地の一部が「関西イノベーション国際戦略総合特区」に認定された。(平成26年)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	・外国人研究者が就労するにあたり、英語版の就業規則、労働条件通知書や勤務心得等を整備している。 ・国内外の有為な人材育成等を目的に、宿泊機能を持った教育研修棟を整備している。
厚生労働省	国立国際医療研究センター	研究費で外国人研究者を招へいする際に、旅費や滞在費を出すことにより受け入れる体制を整えている。
厚生労働省	国立成育医療研究センター	・積極的な外国人研究者の採用を実施。 ・研究会議を全て英語で行う研究部がある。
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	「健康と長寿」に関する国際シンポジウムを毎年開催している。長寿医療分野の研究者並びに有識者を招聘し、広く国内外の研究者に参加を呼びかけている。
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	外国人研究者の獲得を目的とした採用募集は実施していないが、平成22年度より、研究職員の採用募集要領において、「業績および資格等に関わる評価が同等と認められる場合には、女性・外国人の採用を優先的に検討する」旨、明記している。また、英語の募集要領も公開して、外国人研究者の積極的な応募を促進している。なお、27.1.1現在で6名の外国籍研究職員が在籍している。
農林水産省	農業生物資源研究所	特記事項なし。
農林水産省	農業環境技術研究所	研究者の採用に当たっては、和文・英文で公募要領を作成し、広く周知している。応募書類も和文・英文どちらでも可としている。
農林水産省	国際農林水産業研究センター	・研究員の公募にあたっては、当センターのホームページに掲載するほか、各種団体が運営する研究者人材データベースや公募情報に掲載するなど、外国人研究者にも広く門戸を開いている。 ・外国人研究者の支援策として、規程や所内通知等を翻訳する体制整備に取り組んでいる。
農林水産省	森林総合研究所	研究所の国際的な研究水準の向上と研究職員のモチベーションを高めるためにも、有為な外国人研究者を採用することは重要との認識のもと、任期付き研究員を含め、これまでに3人の外国人研究者を採用している。生活面での支援が必要な場面では、研究室等の職員がサポートするほか、男女共同参画室でも必要な支援を行っている。
農林水産省	水産総合研究センター	

所管府省	法人名	外国人研究者の獲得を目的とした環境整備に関する取り組み状況
2013		
経済産業省	産業技術総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀な人材確保及び育成のため、我が国の産業技術力向上に資する外国人研究者を積極的に採用することや、研究マネジメント能力向上の支援の充実を図るなどを、ダイバーシティの推進策に明示し所の方針としている。</li> <li>・外国人研究者雇用促進のための働きかけとして、公式HPの公募用ページを英訳化。</li> <li>・研究協力覚書等を締結して、研究協力を推進している機関を中心に研究者を招聘。</li> <li>・外国人研究者が勤務する上で重要となる規程類の英語化を実施。また規程類をわかりやすくした業務手続マニュアル(日・英)を作成。</li> <li>・AISTインターナショナルセンター(AIC)を設置して、入管申請取次、日本語講習、市役所関連業務を含め生活相談等まで幅広く支援。</li> <li>・日本語の支援を希望する外国系研究グループ・チーム長への対応のため、事務職員を配置してサポート体制を強化。</li> <li>・産総研の宿泊施設(さくら館・けやき館)を、海外からの研究者滞在(短期・長期)の利便のために使用している。</li> </ul>
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	外国人研究者が応募しやすい環境の整備や組織的な受入体制の構築を進める方針であるが、具体的な取り組みについては今後検討を行う。
国土交通省	土木研究所	職務内容に応じて日本語要件を限定せずに国際公募を行ったり、日本で居住して研究活動を行うことを想定し賃金等待遇面で配慮する等外国人研究者を積極的に雇用できるよう取り組んでいる。
国土交通省	建築研究所	研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律第24条に基づき、「独立行政法人建築研究所の人材活用等に関する方針」を策定し、外国人研究者の能力の活用のための取組を行っている。(具体的には、国籍を問わない研究者の公募、海外からの研究者の受け入れ、外国研究機関等との共同研究協定の締結等。)
国土交通省	交通安全環境研究所	「交通安全環境研究所における研究職員の育成等に関する方針(平成22年4月1日理事長達第1号)」( <a href="http://www.ntscl.go.jp/disclose/kouhyo/ikusei.pdf">http://www.ntscl.go.jp/disclose/kouhyo/ikusei.pdf</a> )を定めており、ホスト制により外国人である研究者の受け入れに努めている。
国土交通省	海上技術安全研究所	
国土交通省	港湾空港技術研究所	外国人研究者については、国内外の研究機関等と共同研究や研究提携を行うことで当研究所への研究者を受け入れるなど実施している。
国土交通省	電子航法研究所	電子航法研究所では、研究者の募集に際してはホームページにて日本語及び英語にて案内を行っており、実際に平成26年度の採用者(1名採用)は外国人研究者であった。
環境省	国立環境研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の研究者が研究活動に専念できるように、日常生活上の様々な問題の解決を図るための生活支援制度を設けている。</li> <li>・初めて来た外国人スタッフが所内の事を把握できるように「所内生活マニュアル(研究所についての情報と市内で生活するための情報を記載)」を英語で作成し、初めてでも戸惑わないようにしている。</li> <li>・英語版の所内データベース(イントラネット)を作成し、外国籍の職員・研究者等の研究活動や研究所・市内での日常生活に役立つ様々な情報(イベント等)を英語で提供している。</li> <li>・外国人スタッフや国際的な日本人スタッフに特に焦点を当て、情報共有の促進を目的にして興味深く役立つ情報を英語ニュースレターで配信している。</li> </ul>

トップレベル研究者の獲得を目的とした取り組み状況

所管府省	法人名	人事制度での取り組み	研究環境での取り組み
総務省	情報通信研究機構	「特別招へい研究員」制度を設け、高度な知見を有する研究者をそれにふさわしい処遇で採用できるようにしている（優れた成果を創出した研究者に対しては、特別昇給ができるようにしている）	トップレベル研究者を含む全ての研究者を対象に、国際的な共同研究契約を締結する際のサポートや外部資金獲得のためのサポートなど研究支援を行っている。
財務省	酒類総合研究所	トップレベル研究者の確保のため、職員採用規程に基づく招へい型の任期付研究員の採用制度を設けており、通常の任期付研究員と比較して高額な給与を支給するなどの優遇措置を講じている。能力及び実績に応じた処遇、公正な評価を行い、考課結果を期末手当に反映させることとしている。また、優れた研究開発を行った者に対しては、理事長による評価を経て理事長表彰を行うほか、研究資源の追加的措置を行うとともに、国等の 褒賞制度への推薦等を行う。	研究補助のための非常勤職員の雇用、理事長裁量配賦予算によるスタートアップ資金の提供及び施設、設備環境の整備等により、トップレベル研究者が国際的かつ競争的な環境の下で研究に専念できる環境整備を推進することとしている。
文部科学省	国立科学博物館		
文部科学省	物質・材料研究機構	・特に卓越した研究者をNIMSフェローに任命し、給与面で優遇。また、定年退職後も任期制職員として雇用し、引き続きフェローとして研究活動に従事できる環境を整備。 ・優秀な研究者確保のため、給与体系において年俸制を導入。 ・定年制研究員の雇入業績評価を客観評価（論文関係、技術移転（特許を含む）、外部資金獲得など定量指標による評価）と主観評価（定量化しにくい研究活動に関する上長による評価）の両面から実施し、評価結果は年2回の業績手当の一部に反映している。	・外国人研究者が研究活動に専念できる環境整備のため、事務部門のバイリンガル化を目指し事務職員を対象とした英語研修を実施。 ・新規採用の定年制研究員に対し、着任後速やかに研究活動を開始できるようにスタートアップ資金や研究スペースを研究内容及び役職等に応じて配分。
文部科学省	防災科学技術研究所	特に優れた専門的知識経験を有する者などの獲得のため、フェロー制度を設けている。	
文部科学省	放射線医学総合研究所	平成24年4月から任期制フルタイム職員の雇用更新に際し、個人評価結果を一層給与決定に反映している。また、更に各研究者に見合う給与を柔軟に決定させることが出来るよう、任期制フルタイム職員に対して年俸制を全面的に適用しております。	研修・資格取得の補助のほか、キャリア支援セミナーの開催、TOEIC団体受験を実施しております。
文部科学省	理化学研究所	トップレベルの研究者獲得のために、国際的な競争を踏まえて、相応な年俸を設定できるように規程等を整備している。	基盤センター群を設置し、研究者に魅力的な最先端の研究環境の提供、学生から若手研究者向けの受け入れ制度の充実化を図るとともに、事務面では研究活動に必要な英語環境を整備した。昨今の熾烈な人材獲得競争状況を鑑み、国内外のトップ研究者を呼び込むための「グローバルスーパーハブ」制度を新たに検討し、理研に頭脳循環の世界的拠点構築することを目指している。本制度では、トップ研究者を惹き付けるのに必要なクロスアポイントメント、長期予算、スペース確保など、国際競争激化において負けない条件を基に研究者獲得を行い、獲得したトップ研究者が研究に専念できるように、オーダーメイドで専門的な支援チームを作り、成果を最大化するスムーズな研究実施を支援したいと考えている。
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	・世界の第一線で活躍する極めて優れた外国人研究者を招聘する制度（国際トップヤングフェロウシップ制度）を設け、運用している。 ・当制度の研究者は、任期制職員の中でもより高額な給与を支給することで厚遇している。	・研究を遂行するための研究経費を一人当たり約150万円支給している。 ・フェローが日本語で契約事務等ができない場合は、推進部門においてサポートしている。
文部科学省	海洋研究開発機構	・人事・給与面での自由度を高め、優秀な研究者の獲得・流動化を活発化する取組として年俸制による雇用を導入している。また、成果・実績を処遇に反映させることでインセンティブとしている。	・海洋調査船、深海探査システム等の世界的にも最先端なファンリティを保有し、それらを用いた研究を実施できる。また、研究支援職員を配置し研究者が研究に専念できる環境を整えている。
文部科学省	日本原子力研究開発機構	国内外の優れた研究者を確保するための取り組みとして、研究開発に係るグループリーダーについては、原則として機構内外からの公募を実施している。更に、リサーチフェロー制度、客員研究員制度を積極的に活用することで、優秀な外国人研究者等の確保に努めている。	研究現場が研究に参加できるように、各研究部門に推進室を設け、事務手続き等を事務が行うようにしている。
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	研究業績に応じた特別手当の支給	ヒューマンカロリメーターを我が国で先駆けて導入した。
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	特定有期雇用職員制度についての規程作成を進めているところ。	裁量労働制など、研究を行いやすい環境となるための制度を導入している。
厚生労働省	医薬基盤研究所	特になし。	特になし。
厚生労働省	国立がん研究センター	・大学とのクロスアポイント制度を導入し、より多様な形で雇用確保に努めている。	
厚生労働省	国立循環器病研究センター	採用後の成果・実績を賞与・昇給に反映させている。	日本発の革新的な医療機器の創出を目的に、世界に先駆けてヒトに初めて新規機器を使用する臨床拠点に選定された。（平成23年に5機関のうちの1つとして早期・探索的臨床試験拠点に選定）
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	・研究業務に従事する職員の勤務時間については、フレックスタイム制を導入している。 ・年俸制適用研究者については、前年度の実績を昇給、賞与・給与に反映させ、その他の研究者については、前年度後期及び当年度前期の評価結果を昇給、賞与・給与に反映させることにより、業務で発揮した能力、適性、実績等を適正に評価し、職員の業務意欲向上、業務の改善を図っている。 ・国立大学法人等の機関との人事交流による異動に際して、退職手当の通算が行えるよう職員退職手当規程に規定している。 ・研究所の部長及び室長の募集に際しては、公募を原則とし、広く優秀な人材を募集することにより採用を行っている。	・マウス、霊長類、犬等の実験動物を利用できる総合実験動物研究棟などを整備するとともに、共同利用できる二光子レーザー共焦点顕微鏡などの大型先端研究機器を整備している。 ・臨床研究及び医師主導治験について、科学的及び倫理的妥当性の観点から質の向上を図るため、臨床、非臨床、生物統計、薬事等の専門的支援を行うプロトコルレビュー委員会を設置している。
厚生労働省	国立国際医療研究センター	プロジェクト長公募 募集情報をNATUERや各学会HP等に掲載。	先進的な機器・設備の提供
厚生労働省	国立成育医療研究センター	－	・先進的な施設・設備を提供。 ・優れた研究に対してinhouse研究開発費を優先的に配分。
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	研究者のレベルに応じて部長級のポストを用意している。	年度途中の採用時においても一定の研究資金を共有できる仕組みとしている。また、前研究施設で使用していた研究機器等の移動においても配慮している。
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	中期計画の達成に向けて、優秀な人材を獲得するために、公募・選考に基づいた採用を実施している。なお、採用後の昇任・昇格等の処遇反映については、短期および長期の研究業績を審査しており、トップレベルの研究者が期待する成果を上げていれば相応のポスト・処遇となる。	トップレベルの研究者に限らず、中期計画の達成に向けて、要員配置および施設・機械の整備を進めており、研究活動に専念できる研究環境の整備に配慮している。
農林水産省	農業生物資源研究所	特記事項なし。	特記事項なし。
農林水産省	農業環境技術研究所	人材育成プログラムにおいて、卓越した研究者等の確保のために努める事項として、特任研究員制度（大学等の高度な専門知識を持つ者を本研究所の特任研究員として委嘱し、研究業務等に指導・助言を行ってもらう仕組み）等を活用し、国内外の卓越した研究者等の活用を図ることとしているが、採用等に係る人事制度については、特設の取り組みは行っていない。	トップレベル研究者に特化した取り組みは行っていない。
農林水産省	国際農林水産業研究センター	高度な知識経験や優れた業績を有する研究者を雇用するため、知識経験等の度や、研究業務の困難及び重要な度等に応じた俸給制度を適用する第1号任期付研究員制度を導入している。	技術専門職員及び一般職員を海外の研究サイトに派遣し、研究職員が現地で行っている試験業務及び会計事務等を支援している。
農林水産省	森林総合研究所		
農林水産省	水産総合研究センター	外部を含む研究幹部職員の公募を検討した。	
経済産業省	産業技術総合研究所	「年俸制任期付採用制度」を導入し、採用時に研究業績・成果により給与を弾力的に設定し、トップレベル研究者の研究業績・成果に応じた処遇を行うことを可能とした。 「クロスアポイントメント制度」を導入し、大学等から優れた人材と技術シーズを取り込み、組織の枠組みを超えたトップクラスの「橋渡し」研究の実施体制を構築。また、当該制度により受け入れる大学教授等と共に大学院生を「リサーチアシスタント制度」により受け入れ、「橋渡し」研究の機会を提供し、基礎研究と実用化を架けこぐ人材を育成。	・米国で活躍する世界トップレベル研究者を招聘するにあたり、研究活動に専念できるように、マネジメントに優れた事務職員を副センター長として配置し、サポート体制を構築。 ・外国系研究グループ長・チーム長が外部資金を獲得するための業務支援を行うために、事務職員を補強してサポート体制を強化。
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	・平成19年度以降、任期付技術系専門職を機構ホームページにて逐次公募し、採用を行っている。任期付技術系専門職は年俸による給与体系を採っており、能力、経験等に応じて給与水準を定めている。 ・他法人からの研究者出向を受け入れている。その際年金及び退職金への影響を考慮した扱いを行っている。	
国土交通省	土木研究所	研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律（平成20年法律第63号）第24条の規定に基づき、「独立行政法人土木研究所の人材活用等に関する方針」を策定し、卓越した研究者等の確保のための取組を行っている。	研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律（平成20年法律第63号）第24条の規定に基づき、「独立行政法人土木研究所の人材活用等に関する方針」を策定し、卓越した研究者等の確保のため、研究の環境整備に関する取組を行っている。
国土交通省	建築研究所	研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律第24条に基づき、「独立行政法人建築研究所の人材活用等に関する方針」を策定し、卓越した研究者等の確保のための取組を行っている。（具体的には、客員研究員としての委嘱、研究者業績評価システム等の活用による研究者の能力や実績の給与や処遇への反映、所内表彰制度の運用及び外部表彰制度への推薦等。）	・研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律第24条に基づき、「独立行政法人建築研究所の人材活用等に関する方針」を策定し、卓越した研究者等の確保のための取組を行っている。（具体的には、必要な施設・設備等の計画的な整備に努めるとともに、客員研究員等の委嘱、専門研究員の雇用、交流研究員の受け入れ、共同研究の活用等により、必要な研究体制の構築に努めている。）
国土交通省	交通安全環境研究所	「交通安全環境研究所における研究職員の育成等に関する方針（平成22年4月1日理事長達第1号）」（http://www.ntsel.go.jp/disclose/kouhyo/ikusei.pdf）を定めており、採用する任期付研究職員の経歴に応じて適用する俸給表を使い分けることで、優れた研究職員の確保に努めているとともに、任期のない正規研究職員については、研究職員評価制度に基づく実績手当を支給している。	「交通安全環境研究所における研究職員の育成等に関する方針（平成22年4月1日理事長達第1号）」（http://www.ntsel.go.jp/disclose/kouhyo/ikusei.pdf）を定めており、研究職員が科学技術に関する研究集会への参加を申し出たときは、職務に密接な関連があると認められる場合には、研究業務の運営に支障がない限り、その参加を承認することとしている。また、中期計画に基づき、研究のための施設等の整備を継続して行っている。また、運営費交付金に基づく研究テーマについては、研究者から提案された研究課題が重要であると認められた場合は研究費を重点的に配分している。
国土交通省	海上技術安全研究所	・特別な計画に基づき実施される研究業務に従事させる場合等、能力・実績に応じた処遇で任期付研究員を雇用することができるようにしている。	・研究活動を遂行する上で必要な場合には、補助職員を配置し、また各部門に事務職員を配置することで、研究活動に専念できる環境作りを行っている。 ・雇用や招へいにあわせて、組織改編等を含めて体制作りを行い、研究予算を配算している。
国土交通省	港湾空港技術研究所	優秀な研究者の確保方策として、任期付き研究員制度を整えるなど流動的な人材確保が可能な取組を行っている。また、勤務形態を研究者の裁量に委ねる裁量労働制やフレックスタイム制を採用することにより、研究開発への取り組みをサポートする弾力的な研究体制を取ることで研究者確保に努めている。	研究環境の整備として、当研究所での重点研究課題となっている大規模地震・津波や高波・高潮などの自然災害に対応する研究成果を出すため、国内もしくは海外でも有数の地震実験施設、津波実験施設、波浪実験施設などを保有し、先進的な研究が可能な施設を整えている。また、研究支援として、プロジェクト単位、研究テーマ単位での研究補助者・事務職員を雇用して事務処理を軽減することで研究活動に専念できる環境作りを努めている。
国土交通省	電子航法研究所		
環境省	国立環境研究所	国環研HPの採用案内に各職種の公募を行い、所内外から優秀な人材を確保するよう取り組んでいる。あわせて、学会活動や連携大学院などの多様なルートを使って優秀な人材に公募を周知し応募を働きかけている。採用後においては、研究者の成果・実績に応じて処遇（昇給・昇任・賞与の増額等）を向上させている。	技術的業務等を担う研究支援者を配置することにより、研究者が研究活動に専念できる環境作りを行っている。

多様な人材が触発しつつ知的創造活動が行える仕組みの構築に向けた取り組み状況

所管府省	法人名	多様な人材が触発しつつ知的創造活動が行える仕組みの構築に向けた取り組み状況
		2013
総務省	情報通信研究機構	当機構では、専門・研究分野を異にする研究者等が互いの研究成果・技術等について意見・情報交換を行うことにより、新しい研究アイデアや連携、協力関係をつくるための契機として、複数の研究所間での交流会を開催している。
財務省	酒類総合研究所	当法人内の全研究者が参加して研究成果を討論するための全体研究連絡会を開催している。また、若年研究者等の成果の発表や研究機会の拡大のため、国の各種制度を活用した国内留学、海外留学を勧めるとともに、若年研究者等の研究集会への参加を積極的に推進している。
文部科学省	国立科学博物館	当館には動物、植物、地学、人類、理工学の各研究部があり、研究組織ごとにテーマを定めて推進する、標本資料に基づく実証的・継続的研究である「基盤研究」を行うとともに、最新の研究動向を踏まえた重要な課題等に対して、分野横断的なテーマを設定して期限を定めて行う「総合研究」を実施している。
文部科学省	物質・材料研究機構	研究環境は多様な人材の交流・協働の推進に重要である。新設のWPI-MANA棟は、様々な分野の研究者の出会いを増やすことを念頭にデザインされている。各階のオフィスは、壁を取り払って大部屋とし、同じ空間に複数分野の研究者が同居している。ラボも同様に透明性を重視し、通路側の壁と扉はガラス張りとしてラボの「見える化」を図っており、ラボの外を行き交う研究者が内部の実験の様子を見ることができるようになっている。そのほか、各階のインタラクションスペース、研究発表を通じて研究者が切磋琢磨するオーデトリウム、研究者が作成した芸術的な科学画像を飾った廊下など、新研究棟は全館が「メルティングポット」となっている。この結果、異分野間での研究交流が自然に促進され、分野融合による独創的な研究が芽生えつつある。またMANAはこれまでに、理論・実験融合研究や分野融合研究等の異分野融合を促進するいくつかのプログラムを公募した。制度を作れば研究者は何かを考え出すものであり、このプログラムは数々の成果をもたらしてきている。このようにトップダウン的に分野横断研究をしかけることも有効である。
文部科学省	防災科学技術研究所	当研究所においては、ユニット、センターに所属し、その所掌業務を遂行する体制とするとともに、中期計画に基づき研究開発プロジェクトを編成し、各ユニット、センターに所属する研究者が分野横断的な取組を推進している。
文部科学省	放射線医学総合研究所	研究職の採用については原則任期制で行い当研究所の研究活動を広げる上でも、人材を輩出し、研究ネットワークを広げることが重要であるとの観点から、人材の流動化を進めております。更に専門調査役制度や客員研究員、客員協力研究員、共同利用研究員制度を活用し、産業界からの当研究所の研究活動への参加を進め、倫理や利益相反を考慮しつつ、裁量労働制等を活用し、兼業により、産学官との交流を進め、人材の流動のきっかけを作っております。
文部科学省	理化学研究所	産業界との連携制度（パトゾーン制度）として、企業と理研が基礎研究から実用化研究まで一体となって研究開発を推進する場「パトゾーン」を設け、産業界と共に研究に取り組むためのさまざまな制度を用意している。例えば、企業からの提案をもとに、理研の各センター内に「連携センター」を設置し、中・長期的な課題に取り組む「産業界との連携センター制度」では、理研と企業が共同で新しい研究領域を創出するとともに、理研と企業双方の文化を吸収した人材の育成を図っている。また、チームリーダーを企業から受け入れて時限的研究チームを編成する「産業界との融合的連携研究制度」では、開発側のインシニアチブを重視して共同研究を実施し、産業界・社会のニーズと理研が有する最先端の研究シーズを融合した研究が進められている。
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	大学、関係機関、産業界等との人材交流を促進し、機構から外部機関への派遣を行っているほか、外部人材の受け入れを行うなど多様な人材の活用に努めている。外部から受け入れた人材は、専門的知見をもって機構のプロジェクト・研究開発の進展へ貢献している他、機構で得られた経験を外向元での業務に生かし、外向元における宇宙航空分野の研究開発能力の向上に貢献している。
文部科学省	海洋研究開発機構	・平成26年度から開始した第3期中期計画においては、中期計画に掲げられた研究テーマに対し、部署を超えて分野横断的に取り組むこととしている。また、共同研究契約や連携大学院協定に基づき、関連機関および大学等より研究員を受け入れている。
文部科学省	日本原子力研究開発機構	・任期付研究員、博士研究員、リサーチフェロー等の受入制度を整備し、競争的で流動的な環境の創出及び研究活動の活性化に努めている。 ・国内外の大学及び研究機関等への留学制度等を整備し、研究者の能力向上、研究成果の活用、研究活動の活性化を図っている。 ・連携大学院制度等を活用し、大学院生を積極的に受け入れ、機構における原子力施設及び設備を活用した実践的な研究開発への従事により、効果的な人材育成を図っている。 ・機構において、基礎・基盤研究とプロジェクト型研究開発それぞれの研究者等の交流等により、両者の連携強化を図り、機構の研究開発力の強化を図っている。
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	所内の他の研究員の活動状況、研究内容等を把握し、相互理解交流の促進を図るための所内セミナーを定期的に開催している。
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	研究グループの分野をまたいだ研究発表会の開催。
厚生労働省	医薬基盤研究所	
厚生労働省	国立がん研究センター	築地・柏両キャンパスに臓器横断的Phase I（進行固形癌患者を対象とした第I相臨床試験等）チームを、早期・探索臨床研究センター内に設置した。定期的なカンファレンスを実施し、早期開発治験に取り組んでいる。
厚生労働省	国立循環器病研究センター	・平成23年度にバイオバンクセンターを設立し、平成24年6月より診療情報とリンクしたバイオリソースの集積・保管を開始した。また、平成22年度に設置した研究開発基盤センターの予防医学・疫学情報部と医学倫理研究室を連携させることにより、ニーズ・シーズの掘り起こし、これらをマッチングさせることで基礎から臨床へのTR(橋渡し)研究の更なる推進と迅速化に寄与している。 ・病院・研究所・研究開発基盤センターの共同で、全国多施設前向き登録研究としてアスピリン抵抗性の研究を進めた。並行して、血小板機能抑制効果と遺伝子多型研究を含めた抗血小板薬クロピドグレルの抵抗性に関する多施設共同研究を行った。(平成25年度)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	・研究所と病院が協力し、医師、研究者等の多職種による臨床分野と基礎研究分野が緊密に連携した臨床研究等を推進する専門疾病センターを設置している。
厚生労働省	国立国際医療研究センター	外部講師を招いての「研究所セミナー」の開催 「がん研究センターとの合同リトリート」の開催を計画している。 成育医療研究センターとの合同若手会開催を計画している。 「病院研究所連絡会」の開催を計画。
厚生労働省	国立成育医療研究センター	・研究分野間及び研究所と病院間の交流を推進するためのセミナーを月に数回以上開催している。
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	薬理学研究室で構成される企業連携研究部を設立し、企業との共同研究等を等して超高齢化社会を迎え急増する認知症の発症や進行を抑えるための治療薬開発を実施している。 病院を併設していることから臨床と基礎研究の連携を推進している。また、橋渡し研究においても、特段の配慮をしている。
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	多様な人材の交流・協働の促進を含む萌芽的・先導的研究の推進を趣旨として、理事長のトップダウンにより、先行的・試行的な研究提案に対して研究予算を配分する制度を整備している。また、農研機構主催の国際シンポジウム、国内シンポジウムおよび研究会開催を奨励し、開催経費を補助している。さらに、農研機構内の一部のプロジェクトについて、国際レビューを実施して、海外のトップレベルの研究者による評価を受ける機会を設けている。 この他、長期在外派遣制度のほか、国際研究機関への短期派遣制度、海外調査への経費補助等、多様な機関へ接触する機会を拡大しているところ。
農林水産省	農業生物資源研究所	特記事項なし。

所管府省	法人名	多様な人材が触発しつつ知的創造活動が行える仕組みの構築に向けた取り組み状況
		2013
農林水産省	農業環境技術研究所	研究所においては、内部組織として専門的研究分野ごとの「研究領域」等を設置し、研究者を配属しているところであるが、中期目標に掲げられた研究課題の達成に向けては、多様な専門分野の研究者が結集してそれを実現するため、研究領域等をまたいだ分野横断的な研究単位としてリサーチプロジェクト(RP)を組織している。個々の研究者は必要に応じて複数のRPにエフォート管理の下で参画する。 また、運営費交付金を用いて研究推進費を手当し、内部組織にこだわらない任意の研究者グループによる研究活動を支援することとし、研究所内での研究者の交流や競争的環境の醸成を図っている。
農林水産省	国際農林水産業研究センター	・条件不利地域の食料安全保障や気候変動をはじめとする地球規模課題への対応などの上位目標に対応した研究プログラムを設定し、それぞれのプログラムに複数の研究プロジェクトを配置することにより、分野横断的な研究推進体制を構築している。 ・帰国報告会やセミナーを開催し、専門領域を越えた意見交換や情報交換を図る機会を設けている。
農林水産省	森林総合研究所	
農林水産省	水産総合研究センター	
経済産業省	産業技術総合研究所	・産総研戦略的融合研究事業(STAR)として、「高電力効率大規模データ処理イニシアチブ(IMPULSE)」、「革新的創薬推進エンジン開発プログラム(LEAD)」を創設。産総研が世界に誇る研究開発力と、先端研究機関(理研、大学、企業)の人材、技術等を結集し、分野を横断した研究実施体制を構築。 ・産総研が世界をリードする医薬基盤研究を更に前進させるため、米国で活躍する世界トップレベル研究者を招聘し、新たな研究課題を加え研究体制の強化を図った。 ・「クロスアポイントメント制度」を導入し、大学等から優れた人材と技術シーズを取り込み、組織の枠組みを超えたトップクラスの「橋渡し」研究の実施体制を構築。また、当該制度により受け入れる大学教授等と共に大学院生を「リサーチアシスタント制度」により受け入れ、「橋渡し」研究の機会を提供し、基礎研究と実用化を繋ぐイノベーション人材を育成。
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	・各事業部門で蓄積されてきた知見やノウハウ、各職員の専門分野・得意分野を組織横断的に共有・活用し、組織全体の運営強化・効率化を図るため、部門を超えた人事ローテーションを実施している。 ・また石油開発技術本部では、各種報告会(技術動向調査、研修等)、勉強会を適宜実施している。さらに定期的に行われる会議(本部間、部門間等)にて、事業に関する状況報告がなされており、多様な意見交換を行っている。
国土交通省	土木研究所	・プロジェクト研究については、分野横断的に研究を実行している。 ・交流研究員制度を整備して、民間企業の研究者・技術者の受け入れを行っている。また、多分野にわたる研究等又は高度な専門的知識を要する研究について、高度な専門的知識を有する者を招へいする為に招へい研究員制度を整備している ・海外の研究者や技術者について共同研究や研修等の目的とする受入制度を整備し、積極的に受け入れを行っている。 ・他機関と研究協力協定を締結し、異分野との交流を図っている。
国土交通省	建築研究所	・分野を横断する重要な研究開発の実施にあたっては、効率的かつ明確に成果を挙げられるよう、研究グループの枠を超えて関連する研究者を集結したプロジェクトチームにより研究開発を推進している。
国土交通省	交通安全環境研究所	研究部門、自動車等審査部門及びリコール技術検証部門の間において、適宜情報の共有化や連携して業務を実施することに加え、部門の垣根を越える併任人事制度を活用し、各業務の相互協力、情報共有、基準策定等を進めている。相互の職員の知見の拡大等とともに、各部門の業務を適切かつ効率的に実施している。研究部門においても、自動車部門を担当している「自動車安全研究領域」や「環境研究領域」と鉄道部門を担当している「交通システム研究領域」が所内横断的チームを組み、特定の研究課題に対して密接な連携を図りながら研究業務を実施している。また、所内向けフォーラムおよび講演会、所外向けフォーラムおよび講演会を定期的に関催し、研究所内外に向けて研究成果を発信することで、多様な人材が触発しつつ知的創造活動を行っている。さらに、大学等との兼務、兼業および出向制度により、産学官の間での人材の流動性を高めつつ知的創造の基礎を構築するよう努めるとともに、退職金の算定の基礎となる在職期間について、研究開発法人と国立大学法人等との間でそれぞれ機関における在職期間を通算することで、人材の流動性を高めるよう努めている。
国土交通省	海上技術安全研究所	・所内において、定期的な研究会を開催して、研究成果について、意見交換を行うとともに、分野横断的な研究については、PTを設置している。 ・外国人研究者を含めた研究チームの設置を行い、人材の交流や協働を促進している。
国土交通省	港湾空港技術研究所	当研究所では、各研究分野毎に「研究領域」とこれに属する「研究チーム」の二層構造とし、多岐にわたる研究ニーズに柔軟に対応可能な組織体制としているとともに、特に重要な研究テーマに対しては、研究分野毎の研究チームの枠を超えて横断的に取り組む「研究センター」を設置するなど機動的な組織体制の見直しに努めている。また、共同研究や研究提携に基づき、大学等との連携及び企業等から依頼研究員の招聘により産学官連携した研究開発を実施している。
国土交通省	電子航法研究所	研究員が海外の研究機関又は大学等で研究等を通じて、知見や交流を深めるための在外派遣制度を設けている。
環境省	国立環境研究所	個人の研究力を最大限発揮するための取組として、研究センターごとに定期的に関催している研究セミナーや、海外を含めた外部有識者によるセミナーも行われており、それぞれ所内に公開されている。また専門分野だけでなく、分野横断や地域との協働を目指した自主的な活動も行われている。各研究センター内においては、輪読会や中間報告会、成果発表前の予聴会なども行われている。さらに一部の競争的資金では申請前に理事を含めたメンバーによる助言・ヒアリングを実施している。 一方、国環研全体の研究力を最大限に発揮するための取組として、所内の研究評価委員会において、所外の有識者で構成する外部研究評価委員会からの意見等を議論し、研究計画への反映に努めている。また所内公募型研究を毎年公募しており、新たな研究ニーズに対応した研究実現を支援している。さらに幅広い知見を持った海外の学識者による新たな評価・助言の機会として、「国際アドバイザーボード」を平成27年度に開催する予定である。

当該年度内に任期を終了し、転出したポストの進路

所管府省	法人名	各年度に任期を終了し、転出したポスト数(人)											転出先の雇用形態				
													ポスト・任期付研究者へ転出				
		実数											実数				
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013		
総務省	情報通信研究機構	56 (3)	31 (4)	34 (6)	25 (7)	27 (7)	31 (7)	25 (5)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	3 (8)	0 (20)	6 (4)		
財務省	酒類総合研究所	0 (15)	3 (13)	1 (18)	0 (21)	2 (16)	1 (24)	1 (27)	0 (6)	0 (8)	1 (7)	0 (11)	0 (13)	1 (11)	0 (17)		
文部科学省	国立科学博物館	0 (15)	3 (13)	4 (12)	3 (15)	1 (19)	0 (27)	3 (23)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	1 (9)	0 (13)	0 (20)	0 (17)		
文部科学省	物質・材料研究機構	135 (2)	63 (2)	92 (2)	61 (3)	96 (3)	69 (3)	53 (3)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	17 (3)	0 (20)	5 (6)		
文部科学省	防災科学技術研究所	15 (6)	19 (9)	8 (10)	5 (13)	5 (13)	5 (15)	5 (21)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	2 (9)	1 (13)		
文部科学省	放射線医学総合研究所	7 (9)	7 (11)	7 (11)	10 (11)	19 (8)	15 (10)	5 (21)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	6 (5)	6 (6)	3 (6)	0 (17)		
文部科学省	理化学研究所	0 (15)	0 (21)	0 (20)	117 (2)	236 (1)	242 (1)	263 (1)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	122 (1)	122 (1)	114 (1)		
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	10 (8)	22 (7)	21 (8)	25 (7)	12 (10)	7 (12)	9 (14)	4 (2)	5 (3)	6 (3)	8 (4)	3 (8)	1 (11)	0 (17)		
文部科学省	海洋研究開発機構	18 (5)	22 (7)	25 (7)	18 (10)	11 (11)	7 (12)	12 (11)	14 (1)	18 (1)	9 (2)	13 (2)	8 (5)	0 (20)	7 (3)		
文部科学省	日本原子力研究開発機構	—	30 (5)	49 (3)	44 (5)	49 (5)	45 (4)	32 (4)	—	4 (4)	11 (1)	14 (1)	25 (2)	23 (2)	18 (2)		
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (15)	0 (21)	0 (20)	0 (21)	0 (21)	2 (21)	2 (25)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	1 (13)		
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	—	0 (21)	0 (20)	0 (21)	0 (21)	0 (21)	0 (28)	—	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)		
厚生労働省	医薬基盤研究所	5 (10)	1 (19)	2 (15)	6 (12)	2 (16)	4 (17)	0 (28)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	1 (11)	0 (17)		
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	—	—	2 (21)	8 (16)	—	—	—	—	—	1 (11)	4 (7)		
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	—	—	3 (20)	10 (13)	—	—	—	—	—	1 (11)	0 (17)		
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	—	—	19 (9)	25 (5)	—	—	—	—	—	2 (9)	1 (13)		
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	—	—	1 (24)	21 (8)	—	—	—	—	—	0 (20)	4 (7)		
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (27)	7 (18)	—	—	—	—	—	0 (20)	0 (17)		
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	—	—	4 (17)	9 (14)	—	—	—	—	—	1 (11)	1 (13)		
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	—	50 (3)	39 (4)	59 (4)	56 (4)	41 (5)	12 (11)	—	3 (5)	3 (4)	12 (3)	14 (4)	9 (5)	4 (7)		
農林水産省	農業生物資源研究所	34 (4)	29 (6)	35 (5)	35 (6)	29 (6)	29 (8)	8 (16)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	10 (3)	6 (4)		
農林水産省	農業環境技術研究所	3 (12)	3 (13)	0 (20)	2 (19)	0 (21)	13 (11)	6 (19)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	10 (3)	4 (7)		
農林水産省	国際農林水産業研究センター	4 (11)	2 (17)	2 (15)	3 (15)	4 (14)	4 (17)	3 (23)	4 (2)	1 (7)	2 (6)	1 (9)	2 (11)	1 (11)	0 (17)		
農林水産省	森林総合研究所	—	—	3 (14)	3 (15)	2 (16)	7 (12)	14 (9)	—	—	0 (8)	2 (8)	1 (12)	3 (6)	4 (7)		
農林水産省	水産総合研究センター	—	0 (21)	0 (20)	0 (21)	0 (21)	0 (21)	14 (9)	—	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	2 (12)		
経済産業省	産業技術総合研究所	155 (1)	148 (1)	157 (1)	157 (1)	196 (2)	84 (2)	122 (2)	2 (5)	8 (2)	0 (8)	6 (5)	3 (8)	0 (20)	0 (17)		
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (15)	1 (19)	0 (20)	1 (20)	3 (15)	0 (27)	0 (28)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)		
国土交通省	土木研究所	—	3 (13)	4 (12)	3 (15)	7 (12)	5 (15)	6 (19)	—	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	1 (11)	0 (17)		
国土交通省	建築研究所	0 (15)	0 (21)	0 (20)	0 (21)	0 (21)	0 (27)	0 (28)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)		
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (15)	0 (21)	0 (20)	0 (21)	0 (21)	0 (27)	0 (28)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)		
国土交通省	海上技術安全研究所	1 (14)	2 (17)	2 (15)	0 (21)	1 (19)	2 (21)	2 (25)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)		
国土交通省	港湾空港技術研究所	2 (13)	4 (12)	1 (18)	5 (13)	0 (21)	1 (24)	0 (28)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	1 (11)	0 (17)		
国土交通省	電子航法研究所	0 (15)	0 (21)	0 (20)	0 (21)	0 (21)	0 (27)	0 (28)	0 (6)	0 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)		
環境省	国立環境研究所	11 (7)	17 (10)	10 (9)	22 (9)	13 (9)	39 (6)	22 (7)	4 (2)	3 (5)	3 (4)	3 (7)	5 (7)	3 (6)	0 (17)		
	合計	455	458	494	604	770	680	697	28	42	35	66	209	196	182		
	1法人当たり平均	22	18	18	22	29	21	21	1	2	1	2	8	6	6		
	法人数	21	26	27	27	27	33	33	21	26	27	27	27	33	33		

【参考】経年比較用集計値

※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

年度	集計	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013
2010年度から	合計						680	697						196	182
	1法人当たり平均						21	21						6	6
	法人数						33	33						33	33
2007年度から	合計		494	604	770	651	617			35	66	209	191	172	
	1法人当たり平均		18	22	29	24	23			1	2	8	7	6	
	法人数		27	27	27	27	27			27	27	27	27	27	
2006年度から	合計	458	491	601	768	644	603		42	35	64	208	188	168	
	1法人当たり平均	18	19	23	30	25	23		2	1	2	8	7	6	
	法人数	26	26	26	26	26	26		26	26	26	26	26	26	
2005年度から	合計	455	375	399	495	656	553	539	28	35	21	38	169	155	144
	1法人当たり平均	22	18	19	24	31	26	26	1	2	1	2	8	7	7
	法人数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21

当該年度内に任期を終了し、転出したポストの進路

所管府省	法人名	任期なし研究者へ転出							その他・不明						
		実数							実数						
		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2013
総務省	情報通信研究機構	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	5 (5)	0 (8)	10 (2)	56 (3)	31 (4)	34 (4)	25 (6)	19 (6)	31 (5)	9 (9)
財務省	酒類総合研究所	0 (4)	2 (6)	0 (8)	0 (9)	2 (6)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	1 (16)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	0 (25)	1 (25)
文部科学省	国立科学博物館	0 (4)	0 (7)	1 (6)	1 (7)	1 (8)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	3 (13)	3 (13)	1 (16)	0 (19)	0 (25)	3 (20)
文部科学省	物質・材料研究機構	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	5 (5)	135 (1)	63 (2)	92 (2)	61 (3)	79 (3)	69 (3)	43 (3)
文部科学省	防災科学技術研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	2 (6)	1 (8)	15 (5)	19 (6)	8 (9)	5 (10)	5 (11)	1 (22)	3 (20)
文部科学省	放射線医学総合研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	3 (5)	9 (3)	7 (3)	0 (11)	7 (6)	7 (10)	7 (10)	1 (16)	4 (12)	5 (11)	5 (14)
文部科学省	理化学研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	68 (1)	0 (13)	0 (20)	0 (17)	117 (1)	114 (1)	120 (1)	81 (2)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	4 (2)	4 (4)	4 (4)	14 (2)	0 (9)	3 (5)	0 (11)	2 (10)	13 (9)	11 (8)	3 (13)	9 (7)	3 (14)	9 (9)
文部科学省	海洋研究開発機構	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	4 (9)	4 (11)	16 (7)	5 (10)	3 (13)	7 (10)	5 (14)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	—	12 (2)	13 (2)	13 (3)	16 (2)	11 (2)	9 (3)	—	14 (7)	25 (6)	17 (8)	8 (8)	11 (9)	5 (14)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	2 (18)	1 (25)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	—	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	—	0 (20)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	0 (25)	0 (28)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	5 (8)	1 (16)	2 (14)	6 (9)	2 (14)	3 (14)	0 (28)
厚生労働省	国立がん研究センター	—	—	—	—	—	0 (8)	0 (11)	—	—	—	—	—	1 (22)	4 (18)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	—	—	—	—	—	0 (8)	0 (11)	—	—	—	—	—	2 (18)	10 (8)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (8)	0 (11)	—	—	—	—	—	17 (7)	24 (4)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (8)	3 (6)	—	—	—	—	—	1 (22)	14 (6)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (8)	0 (11)	—	—	—	—	—	0 (25)	7 (12)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	—	—	—	—	—	0 (8)	0 (11)	—	—	—	—	—	3 (14)	8 (11)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	—	6 (3)	10 (3)	9 (4)	9 (3)	12 (1)	3 (6)	—	41 (3)	26 (5)	38 (4)	33 (4)	20 (6)	5 (14)
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	6 (4)	0 (11)	34 (4)	29 (5)	35 (3)	35 (5)	29 (5)	13 (8)	2 (23)
農林水産省	農業環境技術研究所	3 (3)	3 (5)	0 (8)	2 (6)	0 (9)	1 (7)	1 (8)	0 (13)	0 (20)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	2 (18)	1 (25)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	1 (16)	0 (17)	2 (15)	2 (14)	3 (14)	3 (20)
農林水産省	森林総合研究所	—	—	1 (6)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	6 (4)	—	—	2 (14)	1 (16)	1 (16)	4 (12)	4 (18)
農林水産省	水産総合研究センター	—	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	1 (8)	—	0 (20)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	0 (25)	11 (7)
経済産業省	産業技術総合研究所	76 (1)	50 (1)	59 (1)	55 (1)	99 (1)	0 (8)	0 (11)	77 (2)	90 (1)	98 (1)	96 (2)	94 (2)	84 (2)	122 (1)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (4)	0 (7)	0 (8)	1 (7)	2 (6)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	1 (16)	0 (17)	0 (19)	1 (16)	0 (25)	0 (28)
国土交通省	土木研究所	—	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	—	3 (13)	4 (12)	3 (13)	7 (10)	4 (12)	6 (13)
国土交通省	建築研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	0 (25)	0 (28)
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	0 (25)	0 (28)
国土交通省	海上技術安全研究所	0 (4)	0 (7)	2 (5)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	1 (12)	2 (15)	0 (17)	0 (19)	1 (16)	2 (18)	2 (23)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	2 (10)	4 (11)	1 (16)	5 (10)	0 (19)	0 (25)	0 (28)
国土交通省	電子航法研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	0 (13)	0 (20)	0 (17)	0 (19)	0 (19)	0 (25)	0 (28)
環境省	国立環境研究所	0 (4)	0 (7)	0 (8)	0 (9)	0 (9)	0 (8)	0 (11)	7 (6)	14 (7)	7 (10)	19 (7)	8 (8)	36 (4)	22 (5)
	合計	83	77	88	98	143	42	107	344	339	371	440	418	442	408
	1法人当たり平均	4	3	3	4	5	1	3	16	13	14	16	15	13	12
	法人数	21	26	27	27	27	33	33	21	26	27	27	27	33	33

【参考】経年比較用集計値  
※表の見方はシート「集計表の見方」参照のこと。

2010年度から	合計						42	107							442	408
	1法人当たり平均						1	3							13	12
	法人数						33	33							33	33
2007年度から	合計		88	98	143	42	104				371	440	418	418	341	
	1法人当たり平均		3	4	5	2	4				14	16	15	15	13	
	法人数		27	27	27	27	27				27	27	27	27	27	
2006年度から	合計		77	87	98	143	42	98		339	369	439	417	414	337	
	1法人当たり平均		3	3	4	6	2	4		13	14	17	16	16	13	
	法人数		26	26	26	26	26	26		26	26	26	26	26	26	
2005年度から	合計	83	59	64	76	118	19	85	344	281	314	381	369	379	310	
	1法人当たり平均	4	3	3	4	6	1	4	16	13	15	18	18	18	15	
	法人数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	

テニユアトラックの整備状況

所管府省	法人名	1. テニユアトラック制度
		1. 既に、導入／締結している 2. 今後、導入／締結を 2013
総務省	情報通信研究機構	3
財務省	酒類総合研究所	3
文部科学省	国立科学博物館	3
文部科学省	物質・材料研究機構	1
文部科学省	防災科学技術研究所	1
文部科学省	放射線医学総合研究所	1
文部科学省	理化学研究所	2
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	3
文部科学省	海洋研究開発機構	3
文部科学省	日本原子力研究開発機構	1
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	3
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	3
厚生労働省	医薬基盤研究所	1
厚生労働省	国立がん研究センター	2
厚生労働省	国立循環器病研究センター	3
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	3
厚生労働省	国立国際医療研究センター	2
厚生労働省	国立成育医療研究センター	3
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	1
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	1
農林水産省	農業生物資源研究所	2
農林水産省	農業環境技術研究所	1
農林水産省	国際農林水産業研究センター	1
農林水産省	森林総合研究所	1
農林水産省	水産総合研究センター	1
経済産業省	産業技術総合研究所	1
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	3
国土交通省	土木研究所	2
国土交通省	建築研究所	1
国土交通省	交通安全環境研究所	1
国土交通省	海上技術安全研究所	3
国土交通省	港湾空港技術研究所	1
国土交通省	電子航法研究所	3
環境省	国立環境研究所	1
1: 既に導入・締結している		16 (47.1%)
2: 今後導入・締結予定、または検討中		5 (14.7%)
3: 導入・締結予定はない		13 (38.2%)
法人数		34

テニュアトラックの整備状況-該当する常勤任期付研究者数

所管府省	法人名	テニュアトラック制 度に該当する常勤 任期付研究者数 (人)	(問B1-1)在籍す る常勤任期付研 究者数
		実数	実数
		2013	2013
総務省	情報通信研究機構	0 (15)	0 (33)
財務省	酒類総合研究所	0 (15)	8 (27)
文部科学省	国立科学博物館	0 (15)	0 (33)
文部科学省	物質・材料研究機構	21 (5)	259 (6)
文部科学省	防災科学技術研究所	10 (8)	41 (13)
文部科学省	放射線医学総合研究所	7 (11)	67 (8)
文部科学省	理化学研究所	0 (15)	1,559 (1)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (15)	371 (2)
文部科学省	海洋研究開発機構	0 (15)	325 (3)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	103 (2)	271 (4)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (15)	18 (22)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (15)	9 (26)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (15)	22 (17)
厚生労働省	国立がん研究センター	0 (15)	105 (7)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	0 (15)	20 (18)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	0 (15)	52 (10)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	0 (15)	58 (9)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	0 (15)	27 (14)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	21 (5)	23 (16)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	0 (15)	20 (18)
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (15)	20 (18)
農林水産省	農業環境技術研究所	13 (7)	16 (23)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	10 (8)	10 (25)
農林水産省	森林総合研究所	1 (14)	15 (24)
農林水産省	水産総合研究センター	37 (4)	43 (11)
経済産業省	産業技術総合研究所	238 (1)	260 (5)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	0 (15)	3 (32)
国土交通省	土木研究所	0 (15)	25 (15)
国土交通省	建築研究所	6 (12)	6 (30)
国土交通省	交通安全環境研究所	3 (13)	4 (31)
国土交通省	海上技術安全研究所	0 (15)	8 (27)
国土交通省	港湾空港技術研究所	8 (10)	8 (27)
国土交通省	電子航法研究所	0 (15)	20 (18)
環境省	国立環境研究所	42 (3)	42 (12)
	合計	520	3,735
	1法人当たり平均	15	110
	法人数	34	34

各種研究関連人材の内訳

所管府省	法人名	30歳未満 研究支援者		イノベーションの目利き・触媒人材 / 研究マネジメント人材			科学技術コミュニケーション人材			
		非任期付	任期付		非任期付	任期付		非任期付	任期付	
		実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	
		2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	
総務省	情報通信研究機構	10 (12)	0 (8)	10 (12)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
財務省	酒類総合研究所	1 (24)	0 (8)	1 (21)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
文部科学省	国立科学博物館	3 (17)	0 (8)	3 (16)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
文部科学省	物質・材料研究機構	96 (3)	0 (8)	96 (2)	3 (1)	2 (3)	1 (1)	4 (2)	4 (2)	0 (3)
文部科学省	防災科学技術研究所	3 (17)	0 (8)	3 (16)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	1 (4)	1 (4)	0 (3)
文部科学省	放射線医学総合研究所	23 (8)	4 (4)	19 (8)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
文部科学省	理化学研究所	99 (2)	0 (8)	99 (1)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
文部科学省	海洋研究開発機構	23 (8)	0 (8)	23 (7)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	1 (4)	0 (7)	1 (1)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	284 (1)	268 (1)	16 (9)	3 (1)	3 (1)	0 (3)	7 (1)	7 (1)	0 (3)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	12 (11)	0 (8)	12 (11)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	国立がん研究センター	38 (6)	0 (8)	38 (5)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	2 (19)	0 (8)	2 (18)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	10 (12)	0 (8)	10 (12)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	4 (16)	0 (8)	4 (15)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	6 (15)	0 (8)	6 (14)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	15 (10)	0 (8)	15 (10)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	9 (14)	9 (2)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	1 (24)	1 (7)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
農林水産省	森林総合研究所	27 (7)	0 (8)	27 (6)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
農林水産省	水産総合研究センター	62 (4)	7 (3)	55 (3)	1 (4)	0 (4)	1 (1)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	3 (3)	3 (3)	0 (3)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	2 (19)	2 (5)	0 (23)	3 (1)	3 (1)	0 (3)	1 (4)	1 (4)	0 (3)
国土交通省	土木研究所	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
国土交通省	建築研究所	0 (27)	0 (8)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
国土交通省	交通安全環境研究所	1 (24)	0 (8)	1 (21)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
国土交通省	海上技術安全研究所	2 (19)	0 (8)	2 (18)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
国土交通省	港湾空港技術研究所	2 (19)	2 (5)	0 (23)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	1 (4)	1 (4)	0 (3)
国土交通省	電子航法研究所	2 (19)	0 (8)	2 (18)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (9)	0 (7)	0 (3)
環境省	国立環境研究所	46 (5)	0 (8)	46 (4)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	1 (4)	0 (7)	1 (1)
	合計	783	293	490	10	8	2	19	17	2
	1法人当たり平均	23	9	14	0	0	0	1	1	0
	法人数	34	34	34	34	34	34	34	34	34

各種研究関連人材の内訳

所管府省	法人名	30歳以上89歳以下								
		研究支援者			イノベーションの目利き・触媒人材 / 研究マネジメント人材			科学技術コミュニケーション人材		
		非任期付	任期付		非任期付	任期付		非任期付	任期付	
		実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数
2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	
総務省	情報通信研究機構	24 (13)	0 (12)	24 (11)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
財務省	酒類総合研究所	14 (18)	0 (12)	14 (17)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
文部科学省	国立科学博物館	23 (14)	0 (12)	23 (13)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
文部科学省	物質・材料研究機構	53 (7)	0 (12)	53 (4)	10 (1)	9 (1)	1 (4)	6 (3)	5 (3)	1 (5)
文部科学省	防災科学技術研究所	6 (23)	0 (12)	6 (20)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	2 (8)	0 (11)	2 (2)
文部科学省	放射線医学総合研究所	74 (6)	21 (3)	53 (4)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
文部科学省	理化学研究所	530 (1)	10 (4)	520 (1)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (30)	0 (12)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
文部科学省	海洋研究開発機構	46 (9)	0 (12)	46 (7)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	13 (1)	3 (4)	10 (1)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	395 (2)	364 (1)	31 (10)	7 (2)	5 (2)	2 (2)	13 (1)	11 (1)	2 (2)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	12 (19)	0 (12)	12 (18)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (30)	0 (12)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (30)	0 (12)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
厚生労働省	国立がん研究センター	53 (7)	0 (12)	53 (4)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	15 (17)	0 (12)	15 (16)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	16 (16)	0 (12)	16 (15)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	32 (11)	0 (12)	32 (9)	1 (5)	0 (6)	1 (4)	3 (6)	3 (4)	0 (7)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	21 (15)	0 (12)	21 (14)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	33 (10)	0 (12)	33 (8)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	138 (3)	138 (2)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
農林水産省	農業生物資源研究所	3 (26)	3 (9)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	2 (8)	2 (6)	0 (7)
農林水産省	農業環境技術研究所	3 (26)	3 (9)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	3 (26)	3 (9)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
農林水産省	森林総合研究所	28 (12)	4 (8)	24 (11)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
農林水産省	水産総合研究センター	122 (4)	9 (5)	113 (3)	7 (2)	2 (3)	5 (1)	3 (6)	2 (6)	1 (5)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (30)	0 (12)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	6 (3)	6 (2)	0 (7)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	7 (21)	5 (7)	2 (23)	3 (4)	1 (4)	2 (2)	4 (5)	2 (6)	2 (2)
国土交通省	土木研究所	0 (30)	0 (12)	0 (25)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	2 (8)	2 (6)	0 (7)
国土交通省	建築研究所	1 (29)	0 (12)	1 (24)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
国土交通省	交通安全環境研究所	4 (25)	0 (12)	4 (22)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
国土交通省	海上技術安全研究所	7 (21)	0 (12)	7 (19)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
国土交通省	港湾空港技術研究所	8 (20)	8 (6)	0 (25)	1 (5)	1 (4)	0 (6)	1 (11)	1 (10)	0 (7)
国土交通省	電子航法研究所	5 (24)	0 (12)	5 (21)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
環境省	国立環境研究所	118 (5)	0 (12)	118 (2)	0 (7)	0 (6)	0 (6)	0 (12)	0 (11)	0 (7)
	合計	1,794	568	1,226	29	18	11	55	37	18
	1法人当たり平均	53	17	36	1	1	0	2	1	1
	法人数	34	34	34	34	34	34	34	34	34

各種研究関連人材の内訳

所管府省	法人名	40歳以上49歳以下								
		研究支援者			イノベーションの目利き・触媒人材 / 研究マネジメント人材			科学技術コミュニケーション人材		
		非任期付	任期付		非任期付	任期付		非任期付	任期付	
		実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数
		2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013
総務省	情報通信研究機構	28 (13)	0 (12)	28 (12)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	2 (7)	2 (5)	0 (7)
財務省	酒類総合研究所	4 (25)	0 (12)	4 (22)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
文部科学省	国立科学博物館	15 (19)	0 (12)	15 (18)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
文部科学省	物質・材料研究機構	86 (6)	0 (12)	86 (4)	4 (5)	3 (4)	1 (3)	1 (9)	1 (8)	0 (7)
文部科学省	防災科学技術研究所	5 (24)	0 (12)	5 (21)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	2 (7)	0 (12)	2 (5)
文部科学省	放射線医学総合研究所	136 (5)	36 (3)	100 (3)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
文部科学省	理化学研究所	249 (2)	14 (5)	235 (1)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (29)	0 (12)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
文部科学省	海洋研究開発機構	39 (9)	0 (12)	39 (8)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	10 (2)	3 (3)	7 (1)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	550 (1)	489 (1)	61 (7)	14 (2)	14 (2)	0 (4)	15 (1)	12 (1)	3 (3)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	14 (20)	0 (12)	14 (19)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (29)	0 (12)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (29)	0 (12)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	国立がん研究センター	33 (10)	0 (12)	33 (9)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	17 (17)	0 (12)	17 (15)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	16 (18)	0 (12)	16 (17)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	29 (12)	0 (12)	29 (11)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	19 (16)	0 (12)	19 (14)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	33 (10)	0 (12)	33 (9)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	162 (4)	162 (2)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
農林水産省	農業生物資源研究所	8 (21)	8 (7)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	5 (4)	5 (2)	0 (7)
農林水産省	農業環境技術研究所	3 (26)	3 (10)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	1 (9)	1 (8)	0 (7)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	2 (27)	2 (11)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
農林水産省	森林総合研究所	70 (8)	6 (9)	64 (6)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
農林水産省	水産総合研究センター	188 (3)	23 (4)	165 (2)	14 (2)	5 (3)	9 (1)	6 (3)	2 (5)	4 (2)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (29)	0 (12)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	1 (9)	1 (8)	0 (7)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	27 (15)	10 (6)	17 (15)	6 (4)	2 (5)	4 (2)	5 (4)	2 (5)	3 (3)
国土交通省	土木研究所	0 (29)	0 (12)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	3 (6)	3 (3)	0 (7)
国土交通省	建築研究所	0 (29)	0 (12)	0 (24)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
国土交通省	交通安全環境研究所	6 (23)	0 (12)	6 (20)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
国土交通省	海上技術安全研究所	28 (13)	0 (12)	28 (12)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
国土交通省	港湾空港技術研究所	7 (22)	7 (8)	0 (24)	31 (1)	31 (1)	0 (4)	1 (9)	1 (8)	0 (7)
国土交通省	電子航法研究所	1 (28)	0 (12)	1 (23)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	0 (14)	0 (12)	0 (7)
環境省	国立環境研究所	80 (7)	0 (12)	80 (5)	0 (6)	0 (6)	0 (4)	1 (9)	0 (12)	1 (6)
	合計	1,855	760	1,095	69	55	14	53	33	20
	1法人当たり平均	55	22	32	2	2	0	2	1	1
	法人数	34	34	34	34	34	34	34	34	34

各種研究関連人材の内訳

所管府省	法人名	50歳以上69歳以下								
		研究支援者			イノベーションの目利き・触媒人材 / 研究マネジメント人材			科学技術コミュニケーション人材		
		非任期付	任期付		非任期付	任期付		非任期付	任期付	
		実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数
	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	
総務省	情報通信研究機構	12 (15)	0 (13)	12 (12)	1 (10)	1 (8)	0 (5)	1 (11)	1 (10)	0 (6)
財務省	酒類総合研究所	6 (20)	1 (12)	5 (18)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
文部科学省	国立科学博物館	7 (18)	0 (13)	7 (16)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
文部科学省	物質・材料研究機構	57 (6)	0 (13)	57 (4)	6 (8)	0 (11)	6 (1)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
文部科学省	防災科学技術研究所	2 (26)	0 (13)	2 (21)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	2 (8)	1 (10)	1 (4)
文部科学省	放射線医学総合研究所	111 (4)	28 (3)	83 (2)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
文部科学省	理化学研究所	86 (5)	19 (5)	67 (3)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (29)	0 (13)	0 (24)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
文部科学省	海洋研究開発機構	5 (21)	0 (13)	5 (18)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	7 (4)	2 (7)	5 (1)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	842 (1)	794 (1)	48 (6)	8 (6)	7 (6)	1 (3)	13 (1)	12 (1)	1 (4)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	2 (26)	0 (13)	2 (21)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (29)	0 (13)	0 (24)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (29)	0 (13)	0 (24)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	国立がん研究センター	21 (9)	0 (13)	21 (8)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	9 (17)	0 (13)	9 (15)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	7 (18)	0 (13)	7 (16)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	16 (11)	0 (13)	16 (9)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	14 (13)	0 (13)	14 (10)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	11 (16)	0 (13)	11 (14)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	219 (2)	219 (2)	0 (24)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
農林水産省	農業生物資源研究所	16 (11)	16 (6)	0 (24)	7 (7)	7 (6)	0 (5)	4 (6)	4 (3)	0 (6)
農林水産省	農業環境技術研究所	4 (23)	4 (8)	0 (24)	11 (4)	11 (4)	0 (5)	2 (8)	2 (7)	0 (6)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	3 (24)	3 (9)	0 (24)	12 (3)	12 (3)	0 (5)	2 (8)	2 (7)	0 (6)
農林水産省	森林総合研究所	57 (6)	3 (9)	54 (5)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
農林水産省	水産総合研究センター	131 (3)	26 (4)	105 (1)	9 (5)	8 (5)	1 (3)	7 (4)	4 (3)	3 (3)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (29)	0 (13)	0 (24)	15 (1)	15 (1)	0 (5)	10 (2)	10 (2)	0 (6)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	18 (10)	6 (7)	12 (12)	4 (9)	1 (8)	3 (2)	8 (3)	3 (5)	5 (1)
国土交通省	土木研究所	0 (29)	0 (13)	0 (24)	1 (10)	1 (8)	0 (5)	3 (7)	3 (5)	0 (6)
国土交通省	建築研究所	1 (28)	0 (13)	1 (23)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
国土交通省	交通安全環境研究所	5 (21)	0 (13)	5 (18)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
国土交通省	海上技術安全研究所	13 (14)	0 (13)	13 (11)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
国土交通省	港湾空港技術研究所	3 (24)	3 (9)	0 (24)	13 (2)	13 (2)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
国土交通省	電子航法研究所	0 (29)	0 (13)	0 (24)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
環境省	国立環境研究所	42 (8)	0 (13)	42 (7)	0 (12)	0 (11)	0 (5)	0 (12)	0 (12)	0 (6)
	合計	1,720	1,122	598	87	76	11	59	44	15
	1法人当たり平均	51	33	18	3	2	0	2	1	0
	法人数	34	34	34	34	34	34	34	34	34

各種研究関連人材の内訳

所管府省	法人名	60歳以上 研究支援者		イノベーションの目利き・触媒人材 / 研究マネジメント人材			科学技術コミュニケーション人材			
		非任期付	任期付		非任期付	任期付		非任期付	任期付	
		実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	
		2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	
総務省	情報通信研究機構	10 (12)	0 (6)	10 (11)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
財務省	酒類総合研究所	1 (24)	0 (6)	1 (22)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
文部科学省	国立科学博物館	13 (10)	0 (6)	13 (10)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
文部科学省	物質・材料研究機構	39 (5)	0 (6)	39 (5)	14 (1)	0 (3)	14 (1)	5 (1)	0 (5)	5 (1)
文部科学省	防災科学技術研究所	4 (19)	0 (6)	4 (18)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	1 (8)	0 (5)	1 (6)
文部科学省	放射線医学総合研究所	73 (3)	1 (5)	72 (3)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
文部科学省	理化学研究所	33 (7)	3 (3)	30 (7)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (27)	0 (6)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
文部科学省	海洋研究開発機構	7 (13)	0 (6)	7 (12)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	1 (8)	1 (3)	0 (8)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	201 (1)	84 (1)	117 (1)	1 (5)	0 (3)	1 (4)	5 (1)	0 (5)	5 (1)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	5 (17)	0 (6)	5 (16)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (27)	0 (6)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (27)	0 (6)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	国立がん研究センター	6 (16)	0 (6)	6 (15)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	1 (24)	0 (6)	1 (22)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	5 (17)	0 (6)	5 (16)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	7 (13)	0 (6)	7 (12)	1 (5)	0 (3)	1 (4)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	2 (22)	0 (6)	2 (20)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	4 (19)	0 (6)	4 (18)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	13 (10)	13 (2)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
農林水産省	農業生物資源研究所	3 (21)	3 (3)	0 (25)	2 (3)	2 (1)	0 (6)	2 (5)	2 (2)	0 (8)
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (27)	0 (6)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (27)	0 (6)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	1 (8)	1 (3)	0 (8)
農林水産省	森林総合研究所	55 (4)	0 (6)	55 (4)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
農林水産省	水産総合研究センター	87 (2)	0 (6)	87 (2)	2 (3)	0 (3)	2 (3)	2 (5)	0 (5)	2 (4)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (27)	0 (6)	0 (25)	1 (5)	1 (2)	0 (6)	3 (3)	3 (1)	0 (8)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	15 (9)	0 (6)	15 (9)	3 (2)	0 (3)	3 (2)	2 (5)	0 (5)	2 (4)
国土交通省	土木研究所	0 (27)	0 (6)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
国土交通省	建築研究所	2 (22)	0 (6)	2 (20)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
国土交通省	交通安全環境研究所	7 (13)	0 (6)	7 (12)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	3 (3)	0 (5)	3 (3)
国土交通省	海上技術安全研究所	28 (8)	0 (6)	28 (8)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
国土交通省	港湾空港技術研究所	0 (27)	0 (6)	0 (25)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
国土交通省	電子航法研究所	1 (24)	0 (6)	1 (22)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	0 (12)	0 (5)	0 (8)
環境省	国立環境研究所	35 (6)	0 (6)	35 (6)	0 (8)	0 (3)	0 (6)	1 (8)	0 (5)	1 (6)
	合計	657	104	553	24	3	21	26	7	19
	1法人当たり平均	19	3	16	1	0	1	1	0	1
	法人数	34	34	34	34	34	34	34	34	34

各種研究関連人材の内訳

所管府省	法人名	合計								
		研究支援者			イノベーションの目利き・触媒人材 / 研究マネジメント人材			科学技術コミュニケーション人材		
		非任期付	任期付		非任期付	任期付		非任期付	任期付	
		実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数
2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	2013	
総務省	情報通信研究機構	84 (13)	0 (13)	84 (12)	1 (11)	1 (10)	0 (6)	3 (10)	3 (9)	0 (9)
財務省	酒類総合研究所	26 (22)	1 (12)	25 (20)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
文部科学省	国立科学博物館	61 (17)	0 (13)	61 (15)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
文部科学省	物質・材料研究機構	331 (6)	0 (13)	331 (3)	37 (2)	14 (5)	23 (1)	16 (6)	10 (4)	6 (5)
文部科学省	防災科学技術研究所	20 (24)	0 (13)	20 (22)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	8 (8)	2 (14)	6 (5)
文部科学省	放射線医学総合研究所	417 (5)	90 (3)	327 (4)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
文部科学省	理化学研究所	997 (2)	46 (5)	951 (1)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	0 (30)	0 (13)	0 (25)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
文部科学省	海洋研究開発機構	120 (10)	0 (13)	120 (9)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	32 (2)	9 (5)	23 (1)
文部科学省	日本原子力研究開発機構	2,272 (1)	1,999 (1)	273 (6)	33 (3)	29 (2)	4 (4)	53 (1)	42 (1)	11 (3)
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	45 (19)	0 (13)	45 (18)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (30)	0 (13)	0 (25)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (30)	0 (13)	0 (25)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
厚生労働省	国立がん研究センター	151 (9)	0 (13)	151 (8)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
厚生労働省	国立循環器病研究センター	44 (20)	0 (13)	44 (19)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	54 (18)	0 (13)	54 (16)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
厚生労働省	国立国際医療研究センター	88 (12)	0 (13)	88 (11)	2 (10)	0 (12)	2 (5)	3 (10)	3 (9)	0 (9)
厚生労働省	国立成育医療研究センター	62 (16)	0 (13)	62 (14)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	96 (11)	0 (13)	96 (10)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	541 (4)	541 (2)	0 (25)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
農林水産省	農業生物資源研究所	30 (21)	30 (6)	0 (25)	9 (9)	9 (8)	0 (6)	13 (7)	13 (3)	0 (9)
農林水産省	農業環境技術研究所	10 (26)	10 (10)	0 (25)	11 (8)	11 (7)	0 (6)	3 (10)	3 (9)	0 (9)
農林水産省	国際農林水産業研究センター	9 (27)	9 (11)	0 (25)	12 (7)	12 (6)	0 (6)	3 (10)	3 (9)	0 (9)
農林水産省	森林総合研究所	237 (8)	13 (9)	224 (7)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
農林水産省	水産総合研究センター	590 (3)	65 (4)	525 (2)	33 (3)	15 (4)	18 (2)	18 (5)	8 (6)	10 (4)
経済産業省	産業技術総合研究所	0 (30)	0 (13)	0 (25)	16 (6)	16 (3)	0 (6)	23 (3)	23 (2)	0 (9)
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	69 (15)	23 (7)	46 (17)	19 (5)	7 (9)	12 (3)	20 (4)	8 (6)	12 (2)
国土交通省	土木研究所	0 (30)	0 (13)	0 (25)	1 (11)	1 (10)	0 (6)	8 (8)	8 (6)	0 (9)
国土交通省	建築研究所	4 (29)	0 (13)	4 (24)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
国土交通省	交通安全環境研究所	23 (23)	0 (13)	23 (21)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	3 (10)	0 (15)	3 (7)
国土交通省	海上技術安全研究所	78 (14)	0 (13)	78 (13)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
国土交通省	港湾空港技術研究所	20 (24)	20 (8)	0 (25)	45 (1)	45 (1)	0 (6)	3 (10)	3 (9)	0 (9)
国土交通省	電子航法研究所	9 (27)	0 (13)	9 (23)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	0 (17)	0 (15)	0 (9)
環境省	国立環境研究所	321 (7)	0 (13)	321 (5)	0 (13)	0 (12)	0 (6)	3 (10)	0 (15)	3 (7)
	合計	6,809	2,847	3,962	219	160	59	212	138	74
	1法人当たり平均	200	84	117	6	5	2	6	4	2
	法人数	34	34	34	34	34	34	34	34	34

研究者の採用・転入

所管府省	法人名	30歳未満 採用・転入研究者数							
		実数	新規採用者	転入者					実数
			実数	会社	非営利団体	公的機関	大学等	その他	
				2013	2013	2013	2013	2013	
総務省	情報通信研究機構	7 (9)	5 (10)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	2 (4)	0 (8)	
財務省	酒類総合研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
文部科学省	国立科学博物館	1 (22)	1 (17)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
文部科学省	物質・材料研究機構	59 (2)	13 (4)	0 (6)	0 (2)	2 (2)	29 (1)	15 (2)	
文部科学省	防災科学技術研究所	2 (17)	1 (17)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	1 (6)	
文部科学省	放射線医学総合研究所	12 (7)	9 (7)	0 (6)	1 (1)	2 (2)	0 (9)	0 (8)	
文部科学省	理化学研究所	138 (1)	94 (1)	3 (3)	0 (2)	20 (1)	10 (2)	11 (3)	
文部科学省	宇宙航空研究開発機構	37 (3)	25 (3)	4 (2)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	8 (4)	
文部科学省	海洋研究開発機構	4 (14)	1 (17)	0 (6)	0 (2)	1 (6)	2 (4)	0 (8)	
文部科学省	日本原子力研究開発機構	34 (4)	12 (5)	6 (1)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	16 (1)	
厚生労働省	国立健康・栄養研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
厚生労働省	労働安全衛生総合研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
厚生労働省	医薬基盤研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
厚生労働省	国立がん研究センター	4 (14)	3 (12)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	1 (7)	0 (8)	
厚生労働省	国立循環器病研究センター	2 (17)	2 (14)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
厚生労働省	国立精神・神経医療研究センター	9 (8)	9 (7)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
厚生労働省	国立国際医療研究センター	1 (22)	1 (17)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
厚生労働省	国立成育医療研究センター	5 (12)	0 (24)	1 (4)	0 (2)	0 (12)	1 (7)	3 (5)	
厚生労働省	国立長寿医療研究センター	2 (17)	2 (14)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
農林水産省	農業・食品産業技術総合研究機構	16 (6)	11 (6)	0 (6)	0 (2)	2 (2)	2 (4)	1 (6)	
農林水産省	農業生物資源研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
農林水産省	農業環境技術研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
農林水産省	国際農林水産業研究センター	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
農林水産省	森林総合研究所	5 (12)	2 (14)	1 (4)	0 (2)	2 (2)	0 (9)	0 (8)	
農林水産省	水産総合研究センター	3 (16)	3 (12)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
経済産業省	産業技術総合研究所	34 (4)	30 (2)	0 (6)	0 (2)	1 (6)	3 (3)	0 (8)	
経済産業省	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	7 (9)	7 (9)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
国土交通省	土木研究所	2 (17)	1 (17)	0 (6)	0 (2)	1 (6)	0 (9)	0 (8)	
国土交通省	建築研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
国土交通省	交通安全環境研究所	0 (26)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
国土交通省	海上技術安全研究所	6 (11)	5 (10)	0 (6)	0 (2)	1 (6)	0 (9)	0 (8)	
国土交通省	港湾空港技術研究所	2 (17)	1 (17)	0 (6)	0 (2)	1 (6)	0 (9)	0 (8)	
国土交通省	電子航法研究所	1 (22)	1 (17)	0 (6)	0 (2)	0 (12)	0 (9)	0 (8)	
環境省	国立環境研究所	1 (22)	0 (24)	0 (6)	0 (2)	1 (6)	0 (9)	0 (8)	
	合計	394	239	15	1	34	50	55	
	1法人当たり平均	12	7	0	0	1	1	2	
	法人数	34	34	34	34	34	34	34	